

TOKYO URBAN TECH

工学院大学 校友会報

2009 vol.130

# 時代を見つめて、未来を見据えて

あらゆる産業分野で技術が進化するにつれ、  
エンジニアリング会社に求められる機能もますます多様化、高度化しています。  
そのなかでNSE(日曹エンジニアリング株式会社)は、  
現在、そして将来にわたり必要とされるプラントのあり方を見据え、  
各種プラントからシステム、装置、さらには納入後のメンテナンスや  
省エネルギー対応に至るまでのエンジニアリングサービスを提供しています。  
多彩なノウハウでお客様のニーズに応える  
NSEのエンジニアリング領域は今、無限の広がりを見せています。  
絶えず技術力とサービスの向上に挑み、  
時代の変化に即応した新たな価値を提案し続けます。



# NSE

## Corporate Data

商号：日曹エンジニアリング株式会社  
NISSO ENGINEERING CO.,LTD.

業務内容：プラント設備のプロセス設計、機器・配管設計、電気計装設計などの基本設計、詳細設計から、機器調達、工事に至るまでのプラント建設全てに関わる業務。

本社所在地：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目6番1号(タキイ東京ビル)

連絡先：TEL:03(3296)9315 FAX:03(3296)9250

アクセス：都営三田線/新宿線・東京メトロ半蔵門線「神保町駅」A-5出口から徒歩1分  
JR「お茶の水駅」から徒歩8分

## 工学院大学卒業生名簿

氏名	卒業年月	専攻	摘要	氏名	卒業年月	専攻	摘要	氏名	卒業年月	専攻	摘要
浅賀 敏幸	H21.3	環境化学工学		岩本 裕彰	H 7.3	工業化学	(院)	沢浦 満雄	S49.3	化学工学	
安永 雄輝	H21.3	環境化学工学		上藪 英夫	H 6.3	電気工学		福井 巧	S49.3	機械工学	
堤 三紀男	H11.3	化学工学		篠原 隆	H 5.3	化学工学		斎藤 信広	S45.3	機械工学	
沖田 省二	H11.3	化学工学		湯川 政恒	H 3.3	化学工学		菊川 直	S44.3	工業化学	(院)
笛木 健児	H 9.3	電気工学		砂田 浩信	S60.3	化学工学		鎌田 珊治	S43.3	化学工学	
古川 貴基	H 8.3	工業化学	(院)	佐藤 一弘	S59.3	化学工学		井阪 勝二	S40.3	化学工学	
萩原 宏	H 8.3	工業化学	(院)	末吉 貢	S58.3	化学工学		武谷 孝生	S39.3	化学工学	
中川原浩司	H 8.3	電気工学		越 卓郎	S56.3	化学工学					



2009新春の集い

# Contents

校友会会長挨拶 長嶋秀世	4
第16回全国大会沖縄大会報告	6
平成20年度全国支部長会報告	
新春の集い2009報告	7
第8回 ホームカミングデー開催される!	
相模支部の「相模の大嵐」	
相模支部 荒井五十四	8
不易と流行 理事長 大橋秀雄	10
工学院大学の今後の発展に向けて 学長 水野明哲	11
経済変動と私学	
工学院大学附属中学・高等学校 校長 太田忠之	12
鳥人間、理科教室の活動報告	
工学院大学校友会 常任理事 太田正利	13
学園TOPICS	14
学校法人工学院大学創立125周年 特別企画	
波沢栄一と工手学校 茅原 健	18
飯田豊二と日本統治時代初期の台湾鉄道	
蔡 龍保	20
同窓生記事	
私の飛行人生 瀬戸川陸人	22
建築の力と若者の力 モード学園コクーンタワー	
本田 昌義	24
体に染み込んだ潜在的な知識が企業体質と業態を変革	
津上 健一	26

駅 探〜お役立ちサービスの開発秘話を交えて〜	
唐崎 幸弘	28
文化財を未来につなぐ 田中文彦	30
古代のハイテク 佐藤利美(刀匠・重利)	32

## 学園事業の紹介

工学院大学 校友子女特別選抜入学試験を実施します!	34
工学院大学 校友教諭在職高校特別推薦入学試験を実施します!	35
教員をなさっている卒業生・修了生の皆様、情報をお寄せください。	
学園創立125周年記念事業募金のお願い	
校友会募金委員会 委員長 高田 貢	36
教育職員免許更新講習の開設と受講のお勧め	37
工学院大学朝日カレッジ講座ご案内	

## 校友会事務局からのお知らせ

校友会事務局からのお知らせ・お願い	38
工学院大学校友会組織図	39
各部会の活動報告	40
「第64回評議員会・第53回総会」開催のお知らせ	42
平成20年度事業報告、平成21年度事業計画(案)	43
平成20年度収支計算書、平成21年度収支予算書(案)	44
第5号・第6号議案、理事の変更、受賞、訃報	45
平成21年度支部総会開催、本部役員・支部長メール一覧他	46
工学院大学校友会懲戒規程	47
定款	48
企画・広報部からのお知らせ	52
校友会のホームページ、広告募集、表紙デザインのコンセプト、編集後記	

# ゆとり有る豊かな

# 社会の 実現への 貢献

## 主な商品

- 電気部品材料(各種電気接点およびクラッド材料)
- 電子部品材料(金ボンディングワイヤー、封止材、各種ペースト)
  - 触媒(燃料電池、脱臭)
- 貴金属化合物(自動車排気ガス浄化触媒、めっき浴)
  - 各種めっき浴およびめっき装置
- 各種産業用白金製品(ガラス関係装置、理化学機器用製品)
  - 医療関係(抗癌剤用白金族化合物、マーカー)
- 各貴金属リサイクル(使用済み製品より貴金属回収・精製)

## 身近な使用例

携帯電話の機能で、バイブレーターがあります。  
4ミリ位のモーターを使用しています。  
そこに使用されている小さなブラシはほとんど弊社のものです。

## 田中貴金属グループ



## 田中貴金属工業株式会社

〒100-6422 東京都千代田区丸の内2丁目7-3  
東京ビルディング22階  
TEL (03) 6311-5511(代表)  
☎ 0120-266011  
URL : <http://www.tanaka.co.jp>

# 株式会社 デーマグ

当社は1990年創立で、  
『地球環境を大切に』をモットーとし、  
資源、エネルギーを守り、  
自然環境に貢献する  
磁気装置の専門会社です。

- \*商品紹介：1. 永久磁石式アルミニウム溶解炉攪拌機  
：2. 選択帯電型静電選別装置  
：3. その他 1). 廃棄物関係 12種類  
2). 水関係 7種類  
3). 大気関係など

- \*特許件数：59件  
\*主な取引先：新日鐵、トヨタ自動車、東芝など  
\*海外支社：米国・中国・韓国  
\*海外工場：中国杭州(2005年に中国との合弁会社  
設立：資本1億・社長：高橋謙三)

何なりとお気軽にご相談下さい。とにかくアクセスしてみてください。

所在地：〒277-0941 千葉県柏市高柳1143-3(東武野田線・高柳下車徒歩3分)

[sales@zmag.co.jp](mailto:sales@zmag.co.jp)

代表取締役 高橋 謙三(本学機械工学科1970年卒)

TEL: 04-7193-1620 FAX: 04-7193-1621



くつろぎ、味わい、楽しむ。

ホテルのあたたかさ  
感じてください。



### 京王プラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1  
TEL. (03) 3344-0111  
<http://www.keioplaza.co.jp/>

JR・私鉄・地下鉄「新宿駅(西口)」「西新宿駅」より徒歩5分  
都営大江戸線「都庁前駅」B1出口すぐ

来校の節は是非お立ち寄り下さい。懇親会も出来ます。  
これからも宜しくお願いします。



新宿キャンパス7階の食堂



八王子キャンパス学生センター  
800席の広い食堂

## 工学院大学学園生活協同組合



## 校友会会長挨拶

この植物園は、まさしく南国のまっただ中にある  
雰囲気だ。ばかでかい椰子が秋の空に突き出て  
いる。傍らで、名前は分からないが真っ赤な花が  
よく映えている。トラムステーションで降りて、並木  
大橋を渡り、坂を上ると大きなトーテムポールが建  
っている。そこから、錦が池を見ると黄色いコバン  
センナが咲いて、青い池と奇妙に調和している。

しかし、晩秋というのになんと暖かいのだ、  
沖縄は。

いつも仕事ばかりでは息が詰まる。  
校友会も気の利いたことをしてくれる。

昨日は、空港からモノレールに乗って牧志で降  
りた。そこは、昔と変わらない国際通りだった。  
三越の手前を左に入ると、懐かしい公設市場が  
あった。昔の話をしながらいつと飲んだ泡盛は、  
実においしかった。

まだ、独身らしいが。

あのとき、新宿の歌声喫茶で、あの娘に振られ  
たのが、トラウマになったのか？

昨日の全国大会のトリを飾る沖縄舞踊も陽気  
で楽しかった。

また、仕事を頑張って、次も来るぞ。

人は何のために生きているのか？

仕事のため、恋のため、生まれたから仕方なく流  
れに沿って生きている？

いろいろな生き方がある。

普通に生活していると、仕事があり、家庭があり、  
さまざまなストレスがかかる。  
しかし、だからといってなかなか孤独にはなれない。  
孤独とは、つらいものである。追い込まれて、病気  
になったり、自殺したりする。

サミュエル・ウルマンの『青春』に次の言葉が  
ある。

青春とは人生の一時期のことではなく心のあり  
方のことだ。

若くあるためには、情熱・勇気が必要であり、  
やすきにつこうとする自らを戒め、冒険する心を忘  
れてはならない。

人間は年齢(とし)を重ねた時老いるのではない。  
理想をなくしたとき、老いるのである。

苦しんでも、一生。楽しんでも、一生。  
校友会の役割、それは、人生にやすらぎのひとと  
きを与え、楽しい仲間を増やすことだ。



明日への活力を蓄え、楽しく過ごした方が長生きできるだろう。そのためには、全国大会はもちろん、新年会や総会は会員が義務で出席するのではなく、楽しく、待ち遠しくなるような会でありたい。

2007年の会報でお約束したこと、いま風の言葉で言えば、マニフェストに書かれたことを覚えていますか。多くの項目は、実行され、それなりの成果を上げている。しかし、ネットワークが発達している現代社会において、校友会はインターネット資源をまだまだ十分活用しているとは言えない。これからは、楽しい行事が肌で感じられ、多くの校友が参加したくなるような、これが校友会だと言うホームページの提供を皆様にお約束します。

次に、全国の支部の中にはほとんど活動していない休眠状態の支部がかなりある。今年度は、多くの校友が参加し、楽しく活動できるような、具体的なプランを立てて強力に支部の活性化を進めていきたい。

支部は、楽しく、ためになる講演会、趣味やスポーツのサークル、懇親会を行いつつ、社会的な貢献、学園への支援活動を行い、参加する仲間を増やし、多くの校友に《活力》を与えて欲しい。

さて、皆様のお手元にも125周年記念事業募金

のお願いが学園から届いていると思う。皆さん、「ふるさと納税制度」をご存知でしょうか。これは、ある人が自分のふるさとに金員を寄付することで、そのほぼ全額が税額控除される。自分のふるさとに何らかの貢献をしたいという気持ちの表れであろう。同じように、125周年募金は、母校の発展に何らかの形で役に立ちたいという人にうってつけである。しかし、寄付した金員が年金のように訳の分からない無駄遣いに終わったのでは、たまったものではない。そのための施策は、学園が永遠に存続、発展し、卒業生が誇りに思えるものでなくてはならない。学生を数だけ集めて、しっかりと教育せず社会に出せば、すでに社会にいる卒業生に迷惑がかかる。このことを、十分に意識して、教育してもらいたい。学園の継続的な発展とは、まさしくこのことであろう。

今年もまた、風薫る爽やかな季節を迎えました。

校友の皆様が、ますますご健康で、ご活躍されることをお祈りします。



校友会会長 長嶋秀世

# 第16回全国大会 沖縄大会報告

2008年10月11日午後5時より大橋理事長、三浦学長はじめ学園関係者、沖縄県からは仲井眞沖縄県知事、翁長那覇市長を迎え、全国各地から約300名の校友が集い第16回全国大会沖縄大会を「ているる」(沖縄県男女参画センター)で開催いたしました。

3年間にわたり“めんそーれー沖縄へ”を合言葉に沖縄大会への参加を呼びかけてまいりました。厳しい社会情勢の中300人余の参加者になりました。これは沖縄県支部会員やそのご家族の協力、全国の支部長、校友のご協力ご支援の賜物であり感謝いたします。

祝賀会は、パシフィックホテルに移動し、歌い踊り、琉球文化に触れ沖縄大会を祝いました。

最後に沖縄県芳田支部長から長嶋校友会長に大会旗が返還され、引き続き次期(2011年)開催地「彩の国」埼玉県黒澤支部長に手渡されました。



# 平成20年度全国支部長会報告

沖縄大会当日、「ているる」会議室において全国支部長会を開催いたしました。

座長・若林勝司東京支部長、副座長・志村豊湘南支部長のもと、テーマ(1)支部会員を増やすにはどうしたらよいか?(2)支部と本部との連携(役割の明確化)についての二つを討議いたしました。

参加支部長からご意見を頂いた結果、下記の通りのまとめとなりました。(1)会員を増やすにはコンタクトをす

る卒業生名簿が必要である。(2)その名簿も整理(住所の他、メールアドレス、卒業生年度別、研究室別とキーマン、所属支部情報込み)が必要で、本部(同窓会中心)がまとめ、それを支部へ開示してほしい。

一方本部からは、本部報告、校友子女特別入試のご案内、学園創立125周年記念事業募金について説明をいたしました。





# 新春の集い2009報告

1月11日に「新春の集い2009」を開催いたしました。参加人数の増加をも期待し、今回初めてアトリウムで開催をしたところ257名の参加となり大盛況でした。

グリークラブによる校歌斉唱に始まり、沖縄県支部の芳田前支部長、仲本氏による沖縄八重山舞踏「あぶじゃーま」を堪能した後抽選会を行い楽しく過ごしました。

懐かしい学友との歓談に話が弾み、中締めが早すぎるとの苦言も出たほどです。

運営面ではアトリウムの両側が出入り口のため「寒さ」が気になっておりましたが、この対策やテーブル準備等々、柴田施設管理部長様他法人関係者にご協力を頂き、快適に歓談が出来たこと紙面をお借りして御礼申し上げます。



● (記)組織・事業部 來住 康弘

## 第8回 ホームカミングデー開催される!

平成20年11月3日午後1時、新宿キャンパス3階アーバンテックホールで歓迎式典と記念講演が出席者250名のもと開催されました。歓迎式典は、大橋秀雄理事長、長嶋秀世校友会会長からの歓迎挨拶があり、引き続き水野哲郎副学長と太田忠之附属中学・高等学校校長から学園の近況報告、また、学園創立125周年記念事業について木村雄二委員長からも報告がありました。

記念講演は「再び鳥人間コンテストに出場するため」の演題でプロジェクト顧問の外国語科准教授の足立節子先生とプロジェクト担当の学生たちから詳細な活動報告があり、来年も「琵琶湖のプラットホームに帰ってこよう」と前向きな意気込みが披露されました。

懇親会は、1階アトリウムに移し、ステージでは一部文化会吹奏楽部の総勢45名による素晴らしい演奏で開幕しました。広い会場一杯に所狭しと様々なメニューがテーブルに並べられて楽しい立食パーティとなり、あちこちで思い出深い仲間達の懇親や写真撮影が行われ、

先生、先輩、同期、後輩と思い思いの時間を過ごし、散会となりました。本年も11月3日(火)に第9回目のホームカミングデーが新宿キャンパスで開催されます。招待される方々は懐かしい母校再発見の日としてご参集いただき、楽しいひとときを是非お過ごし下さい。

(取材/企画・広報部)



第8回ホームカミングデー懇親会 新宿キャンパス

# 相模支部の活動報告

## 「相模の大凧」と「相模支部」

相模支部総務(広報担当) 荒井 五十四(機械・69)

相模支部が凧揚げしようとしたのは、平成16年2月の支部懇談会において、私の「相模原市市政50周年の記念事業に参加しようか」との発案からです。当時の支部長伊勢さん他の賛同を得て、有志40名ほどからスタート。初めての事ながら、私の指導の下、凧材料の調達、刻み等、慣れない作業を連日行い、「相模の一間凧」が完成されました。

凧揚げの当日、5月4日は強風で「一間凧」は4枚の紙を2枚外し、尻尾も増やして凧連の指導を受けながら、見事に揚がりました。このように風の強さにより紙を適宜、外せるように分割して出来ているのが相模の凧の特徴ですが、実際に体験してみて、皆さんは先人の知恵にあらためて敬服したようでした。5日は反対に全く風が無く「パンダ凧」は水を得た魚のように空高く舞い上がりました。凧に付けた「工学院大学校友会相模支部」は地元を始め全国の凧連、そして見学者の目にも止まったことでしょう。会場で、

うちの息子も工学院ですとの声も聞かれました。

過日の反省会で「今後支部のイベントとして継続しよう」と氣勢が上がり、翌年から勝坂会場に参加、以来凧連とも顔なじみとなり、継続しています。

「相模の大凧」は作る楽しさと揚げる楽しさがあり、工学的には機械力学や流体力学の分野です。皆で作上げる、ものづくり作業は、共通した目的を持ったコミュニケーションの場にもなり大きな親睦となります。また揚げる楽しさは風任せ、創意工夫、あの手この手工学知識も役立ち?チームワークよろしく意気投合しないと良い結果は生まれません。空高く揚がった瞬間は思わず笑顔笑顔、握手握手に抱きつきです。誰となくバンザイです。童心に返った喜びです。相模支部は凧を通じて和気藹々、来年の凧揚げご案内いたします。

(参考)「相模の大凧」は天保年間頃から伝えられており現在は大凧文化保存会のもと毎年5月4・5日に実施。



1間凧の骨組作業



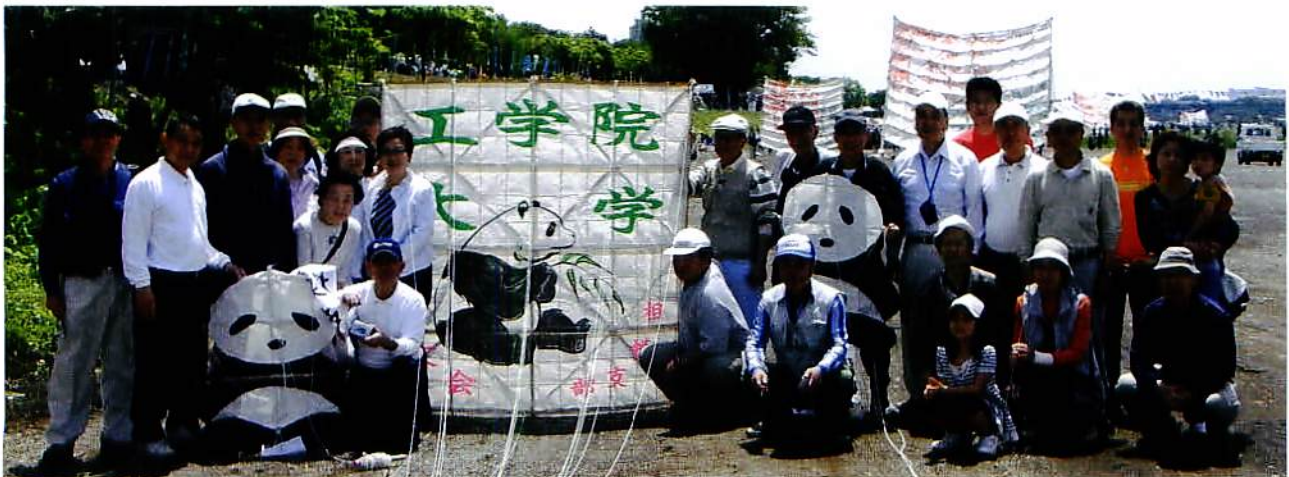
凧揚げ当日準備



揚げる前の糸目ほくし



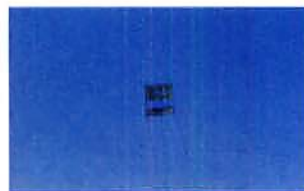
さあ…揚げますよ!!



1間凧とパンダ凧と応援団と



揚がりました



強風を調整、空中舞い上がりました



パンダ凧の舞い上がり



(参考)相模の大凧

# 卒業生(校友会会員)の求職・転職サポートします!

校友会では、多様化する社会情勢に対応するため2007年より、建設・土木・不動産系を中心とした、日建学院グループ職業紹介専門企業「ニッケン・キャリア・ステーション」とタイアップし、会員の皆様の求職・転職をサポートするシステムを整えています。充実のキャリアプランの実現へ、本システムをご活用下さい。

## ■ 職業紹介事業に対する意識

より確かな人材を求める企業側の需要と、優良人材の引き合わせを行なう職業紹介事業「たくさんの情報の中から、選択することができる」「専門機関として第3者が間に入ることで、企業側の正確な情報を知ることができ、応募する前の選別がしやすくなる」など、多くのメリットが認知され、ご利用価値が高まっています。

## ■ ニッケン・キャリア・ステーション

(厚生労働省大臣許可13-ユ-090149)とは

日建学院グループ、建築業界中心に特化した職業紹介・人材派遣のエキスパート企業です。

「心をこめたお手伝い」：コンサルティングを通し、若手からシニア層まで、その方の可能性

を拓ける前向きな就職・転職のお手伝いを行っています。

社員数:145名(社員35名/派遣社員110名)

拠点:本社(池袋)・横浜・大阪・名古屋・福岡

顧客企業:4,500社/登録人数12,500名

/工学院大学卒業生登録者数:250名

## ■ 日建学院(建築資料研究社)

…ニッケン・キャリア・ステーション親会社

全国133校、建築系国家資格取得教育業務を主体に、建築関連専門誌の発行なども手掛ける企業。建築系資格取得では今年40周年を迎え、毎年約10万人の講座終了実績があります。

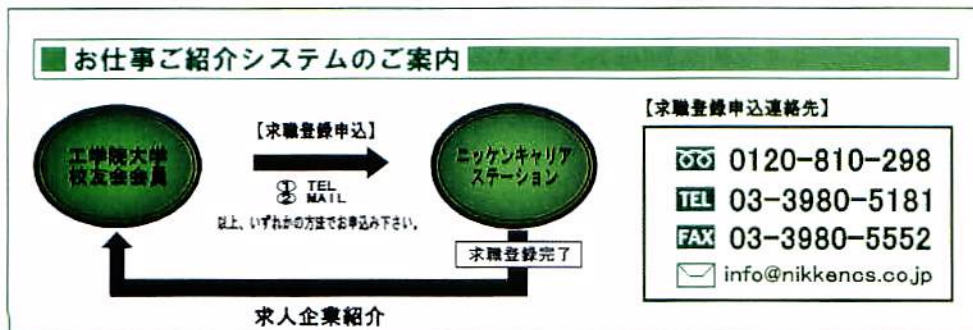
## ■ 登録希望のお申し込みは…

直接「ニッケン・キャリア・ステーション」へご連絡下さい。

求職登録は「ニッケン・キャリア・ステーション」へ電話もしくはメールで、連絡。窓口の担当から今後の流れをご説明致します。

\*登録から仕事の紹介まですべて無料です。

\*個人情報など厳守されます。





# 不易と流行

理事長 大橋 秀雄

今年のお正月は晴天続きでした。とくに元旦は空気が澄みわたり、朝日を受けて白く輝く富士の姿は神々しいばかりでした。振り返ると、今年の元旦も同じ思いをしました。富士の姿は、いどこで見ても美しい、まさに千古不易の美しさです。この思いが今年特に強かったのは、それに比べて世の中の変わりようは何だ、という無情感への反動だったのでしょうか。1年前の経済はそれほどの変調を見せなかったのに、今年は様変わりです。大晦日のテレビは、仕事と住居を失った大勢の人たちが日比谷公園の派遣村で年を越す様子を伝えていました。人間は悲しいかな、世の中の変化、すなわち流行に振り回されてしまいます。変わるものは、ファッションだけではなく、経済にも、芸術にも、科学技術にも流行があります。

流行なんて無い方がいい、とも思っていますが、考えてみると、不易の世界は退屈ですね。国宝だけを集めた美術館があっても、展示が変わらなければ来館者は減る一方でしょう。人間には、現状を自分が望む方向に変えようという意欲・願望が自然に備わっています。ダイナミズムと言ってもいいでしょうが、流行は人間の本性から発しています。しかし流行がときに振動的を越えて発散的になると、百年に一度ともいわれる難局に遭遇することになります。

構造物や電気回路などで、振動が発散的に成長する自励振動が起こって破壊に至るケースをたびたび経験しています。そのたびに、振動エネルギーを殺すダンパーを組み込んで問題を解決しました。経済特に金融の世界では「市場の活性を損なう」としてダンパーの組み込みが敬遠されました。我々技術者が、社会システム、特に経済システムの安定性向上により積極的に関与する必要性を痛感しています。

わが学園は、3年後に125周年を迎えます。その間、実践的技術者の育成という目的を不易に守りながら、激しく襲いかかる幾つもの変動の波を乗り切ってきました。いまその真っ直中にある18世人口の激減という大波は、関東大震災や学制改革のそれと比肩するものでしょう。校友の皆様には、校友子女特別選抜制度や校友教諭在職高校特別推薦制度などを通じて学生募集の一翼を担っていただき有り難うございます。皆様と手を組みながら、単に波に耐えるだけでなく、新しい教育の波をつくり出して流行の魁にもなりたいと願っております。

125周年の記念募金にたくさんの校友からご芳志を頂き有り難うございました。目標達成に向けて引き続き努力いたしますので、応援をお願い申し上げます。



# 工学院大学の 今後の発展に向けて

学 長 水 野 明 哲

本年4月より学長に就任しました水野明哲です。校友の皆様がこの場をお借りして一言ご挨拶申し上げます。私は1979年4月に講師として工学院大学に着任し、それ以来30年間お世話になっています。機械工学科で流体工学を担当してきましたので、校友の皆様の中には、私の講義を聞いていただいた方や私の研究室で卒論や修士論文の研究をされた方も多数おられるかと思えます。

少子化の時代に加えて理科離れが叫ばれ、大学はかつて無い困難な時代になってきています。受験者数の減少傾向が見られ、大学のステータスを維持し、さらなる向上を図るには前途多難な状況ではありますが、

- 1) 意欲的な学生を集めること
  - 2) 導入教育を初めとした丁寧な教育を行うこと
  - 3) 就職活動の積極的な支援を行うこと
  - 4) 研究レベルの向上を図ること
  - 5) 部活動、創造活動を支援し発展させること
  - 6) 組織の改変により時代にマッチした体制を維持すること
  - 7) 社会貢献活動を積極的に推進すること
- などを総合的に取り組む所存であります。

1)については、受験生に工学院大学の良さを十分に知ってもらうことが重要です。オープンキャンパスなど、受験生に大学を見てもらう機会を大切にすること、適切な広報活動を展開することにしていきます。

2)については、2007年度より機械系学科において導入教育の試行をしてきましたが、これを全学規模に広める努力が必要だと考えています。同時に、カリキュラム内容を整理して、学生にとって目標の見えやすい履修ができるように、工夫をする必要があります。本年4月より教育開発センターを設置し、これら教育にまつわるさまざまな課題に果敢にチャレンジして改善を図ることにしていきます。

3) 学生の就職の支援は大学にとって重要な課題で、就職支援センターを設置して、エントリーシート作成の指導から、企業と学生の面談の場を提供する企業研究会まで、さまざまな形の支援をしています。また、在学中のキャリア教育の充実も図っているところです。昨年来の世界的景気後退のために、企業の求人状況が激しく変化してくる中で、常に時代にあった就職指導が必要だと考えています。

4) 大学は教育と研究が車の両輪であると言われます。

さまざまな入試種別で多様な学生が入学してくる中、教員の教育負担は増えるばかりです。しかし、だからといって研究活動をおろそかにして良い訳ではありません。学会や企業など学外とのパイプをいつも維持しながら研究活動を展開することが、とりも直さず教育の質を維持することにつながるものです。研究活動がしやすい環境を維持・発展することが重要だと考えています。

5) 昨年7月に琵琶湖で行われた鳥人間コンテストに参加し、工学院大学チームが963.5mの大飛行を成し遂げた感動を学生と一緒に味わい、涙をこらえられませんでした。部活動や創造活動は、学生のモチベーションを高めるとともに、チームワーク、コミュニケーション力を養うことにも役立ち、立派な社会人に育ってくれる大きな力です。幸い校友会からもさまざまなご支援をいただいております。活動の活性化を図りたいと考えています。



6) 組織というのも、教育の組織と事務組織の両方があります。時代の要請に合った学部学科編成を行うこと、そして効率的な事務組織を維持することが求められます。組織を動かすことには大きなエネルギーが必要ですが、これにたゆむことなく必要な改変を進めるつもりでいます。

7) 本学の有する知的・物的資産と学生・教職員の活力を生かして、地域社会・産業界との連携を強化促進し、社会的存在価値を高めて行きたいと考えています。

工学院大学は、125周年に向けて大きく動こうとしています。ここに述べたような施策を積極的に進めることができるかどうか大学の将来を左右する大きなキーになるものと思っています。校友の皆様におかれましても、大学を暖かく見守っていただき、ご支援と忌憚りの無いご意見をいただければ幸いです。



# 経済変動と私学

工学院大学附属中学・高等学校

校長 太田 忠 之

昨年は沖縄で開催されました校友会第16回全国大会に招待いただき改めて工学院大学の歴史・伝統と活動の広がりを実感することができました。毎年校友会より夢工祭はじめ本校生徒の活動にご援助をたまり厚く御礼申し上げます。生徒たちの活動は勉学、部活をはじめ多方面にわたって一歩一歩成果を重ねてきており、月刊誌「プレジデントファミリー」11月号においては中学校が「噂のハイスクール訪問」という特別記事で取り上げられました。

わが国の勤労者の所得分布は長い間続いた一億総中流と言われた時代のガウス分布的な中央にピークのある山型から高所得と低所得の両側にピークのあるM型にこの5年ほどで急速に変わりました。つまりアメリカ的な格差社会となり貧困率(所得が国民の平均所得の2分の1以下の人の割合)においてアメリカと共に先進国のトップグループになりました。このような社会構造の変化が長期的に私学の経営にどのように影響するかはまだ見通しが立ちません。しかし一時の「公立離れ」という追い風も消え、私立の中高一貫校が増えただけでなく都立の中高一貫校に受験生が殺到するなど大きく様相が変化してきています。それに加えて昨年後半からの経済不況の中、公立中学3年生の73%が都立高校を第1志望にしているという調査結果も報告されています。このような状況下で高い学費を負担しても私学に入りたい、入れたいという生徒・保護者の要望に答えられなければその学校はやがて淘汰されてしまいます。本校に入学する生徒達の希望も以前よりも多様になり、また高いレベルの進学を目指す傾向がはっきり見えてきています。彼らの目標を実現することが私達の責任であり、結局は学校の評価となり将来とも安定した経営につながるようになります。学校の評価の1つの核は確かに進学実績ではありますが、それだけではありません。学校生活のさまざまな活動の中で生徒がどのような喜びを感じるか、どのように成長するか、つまり人格形成の全体が評価されるのだと思います。私達は今1年かけて将来ビジョンの策定の議論をしています。教員達が自ら共通の将来像を持ち努力と研鑽を続けること、その姿を生徒達が毎日の学校生活の中で感じ取ることが大事だと考え、ビジョンの議論・検討をしています。経済の専門家は世界経済はカオス的になったという表現をしていますが、教育は決してカオスであってはならず自分達の目指す目標に向け一歩一歩着実に進めてゆきたいと思っております。

# 鳥人間、理科教室の活動報告

## 第32回 鳥人間コンテスト

第32回 鳥人間コンテスト選手権大会が2008年7月26日、27日 琵琶湖 松原水泳上で行われた。

工学院大学は27日 人力プロペラ機デスタンス部門に出場した。

今回で3回目の出場だが、この部門は初めてだ。フライトは12番目とかなり遅い。5時間以上の順番待ちの後、慎重

工学院大学校友会 常任理事 太田 正利

にプラットホームへとB.P.Wendy (機体)が運ばれる。気温35度、太陽が眩しい。着ぐるみと学生服の応援合戦がはじまる。応団幕には「お前はもう飛んでいる」パイロットの江口正晃がアップで写る。スタートの音になる。プラットホームからB.P.Wendyが飛び立った。

大きな歓声が「とべとべ正晃、とべとべ正晃」



記録は5位 963.50m



## 第15回 工学院大学わくわくサイエンス祭 理科教室

工学院大学校友会 常任理事 太田 正利

15回となる理科教室が8月23日、24日八王子キャンパスで開催した。「死海に浮いてみよう」「自転車をこいで、さあ…飲み水を作そう」など全70テーマ 4,000人が入場した。



ブーメラン・紙トンボを作って飛ばそう

化学ショーと工学院大学オリジナル技術体験



自転車をこいで、さあ…飲み水を作そう



## 鳥人間サークルWendyが琵琶湖の空を舞う

「第32回鳥人間コンテスト選手権大会」（主催：読売テレビ放送株式会社）が2008年7月26・27日の両日、滋賀県彦根市の琵琶湖・松原水泳場で開催され、本学学生プロジェクトチーム・鳥人間サークルWendy (birdman project Wendy)は13チームがエントリーした人力プロペラ機ディスタンス部門に出場し、963.50メートルというフライトに見事成功して、第5位に入賞しました。

同サークルは、ある英語の授業で「鳥人間コンテストに出て琵琶湖の空を飛びたい」とスピーチした一人の女子学生の夢と想いによって、2001年に発足しました。2004年の第28回大会の滑空機部門オープンクラスで初出場、翌2005年に同オープンクラスに2年連続で出場し、230.88メートルという大記録を出し、審査員特別賞を受賞しました。その後、2006年からは人力プロペラ機部門にエントリーを移してチャ

レンジしましたが、多くの技術的課題があり、2年連続で書類審査に落選。しかし、試行錯誤を重ねながらも遂に念願がかなない初的人力プロペラ機部門に出場しました。

当日は多くのOB・OG、教職員も駆けつけ、プロジェクトのメンバーの学生達と一緒に応援する中、快挙を成し遂げました。

## 文部科学省「学生支援GP」に採択

本学が文部科学省に申請していたプログラム「いのち・つながり・ちから」が、「平成20年度新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)」に採択されました。

学生支援GPは、2007年度からスタートした文部科学省の事業で、「学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するため、各大学・短期大学・高等専門学校における入学から卒業までを通じた組織的かつ総合的な学生支援のプログラムのうち、学生の視点に立った独自の工夫や努力により、特段の効果が期待される取組を含む優れたプログラムを選定し、広く社会に情報提供するとともに財政支援を行うことで、各大学等における学生支

援機能の充実を図る」ことを目的にしています。今年度は230件の申請に対し、23件が採択されました。

### 【プログラム名称】

いのち・つながり・ちから  
-学生連携型

地域防災拠点の構築-

### 【プログラム概要】

都心と郊外に拠点をもち理工系大学の特色を活かした学生支援として、学生と地域社会との連携により新宿・八王子両キャンパスを地域防災拠点とする総合的な取組です。通常授業との関連の中で、学生が中心となって地域住民と協力して実用的な地域防災マップを作成します。また、災害発

生時には学生の安全を確保し、安否確認が速やかにできるシステムを作るとともに、地域住民に必要な情報を提供し、避難民の誘導に協力できる体制の構築を目指します。

学生達は地域住民との連携を通して、コミュニケーション能力が向上し、社会貢献意識を高めます。普通救命講習の受講や防災対応型防災訓練と新宿駅滞留者対策訓練への参加によって、実践的な災害対応力を身に付け、防災マップ作成や防災システム構築に主体的に関わることで、問題解決能力を涵養します。本取組によって、学生は安心して大学生活を過ごせるだけでなく、社会的ニーズに対応した人間力が育成されます。





## スーパーサイエンスティチャー養成講座始まる

本学は地域に開かれた大学として、夏休みには子ども達を対象とした理科教室を開催するほか、理工系大学として各種社会貢献事業を展開してきました。これらの活動をさらに充実させ、本学が長年にわたり蓄積してきた理科教育に係るノウハウなどを利活用して、「理科大好き先生」を養成するための機関として2008年4月に「理科教育センター」を設立しました。

この「理科大好き先生」を養成する

ための「理科授業・理科実験技術の向上に寄与するための講座」、名付けて「スーパーサイエンスティチャー養成講座（SST養成講座）」を、5月10日から開催しました。この講座は、八王子市教育委員会の後援により実施するもので、大学のスタッフと八王子市立小学校の「理科大好き先生」とが協力して開講しています。以来、各方面から注目され、9月27日のNHK総合「おはよう日本」や朝日新聞

（12月10日朝刊）でも紹介されました。

前期講座には延べ160名の教諭が受講しましたが、受講した教諭から「大学で理科実験の実習をやったことがなかったので、この講座で助かっている」、「工学院大学に足を向けて寝られない」等の謝意が述べられ、また八王子地域以外での開講要請が多く寄せられています。

## キャンパス間シャトルバス運行開始



2008年4月7日から学生の課外活動支援を目的とした新宿・八王子キャンパス間シャトルバスの運行を開始しました。

運行開始に先立ち、4月4日、満開となった桜の下で八王子キャンパスの学生センター前において、水野副学長、宇田川学長補佐、佐藤学長補佐、横山学長補佐および学生代表の計6名でテープカット式典を執り行いました。

キャンパス間シャトルバスは、乗員人数27人（補助席6席含む）、所要時間約40分で前期・後期の授業期間中、月～金曜日は1日2往復、土曜日は1日1往復を運行し、学生のクラブやプロジェクト活動を支援しています。



## FCEVプロジェクト 第14回日本EVフェスティバルで準優勝

2008年11月3日、茨城県つくばサーキットで開催された「第14回日本EVフェスティバル」(日本EVクラブ主催)に「工学院大学FCEVプロジェクト」チームが出場し、手作りEV(電気自動車)による「コンパクトEV 1時間ディスタンスチャレンジ部門」で準優勝、手作り電気レーシングカート(ERK)によるジムカーナのトーナメント戦「ERKデュアルジムカーナ(クラス:ERK-1)」部門で第3位に入賞しました。

日本EVフェスティバルは、手作りEV

(電気自動車)を走らせ、EVの可能性を広げて楽しさを発見する市民によるEVの祭典で、チャレンジ種目として、手作り電気レーシングカート(ERK)によるジムカーナのトーナメント戦「ERKジムカーナ」や、市販のガソリンエンジンをEV(電気自動車)に変身させたコンパクトEVで1周2kmのサーキットを1時間で何周できるかに挑戦する「コンパクトEV 1時間ディスタンスチャレンジ」などがあります。

コンパクトEV 1時間ディスタンスチ

ャレンジ部門には、全部で24チームが出場しましたが、本学から現役学生によるチームとOB有志によるチームが出場しました。結果は、十分な準備と計画を練った現役のマイティボーイが準優勝に見事に輝きました。表彰台に立つのは、5年間で初めての快挙です。

また、ERKデュアルジムカーナ(クラス:ERK-1)部門では全部で7チームが出場し、本学チームは一昨年と去年に続き、見事3大会連続で第3位に入賞しました。

## 中学校・高等学校演劇部が大活躍!



2008年6月15日と22日の2日間にわたり、東京都私立中学校16校が参加して開催された「第35回 東京私立中学校演劇発表会」において、中学校演劇部は中学3年生3名で参加し、創作劇『春をくぐって女になあれ』(ラブコメ)を上演し、「最優秀賞」(第1位)を受賞しました。

また、高校演劇部は、10月に25校が参加して開催された「第62回東京都高等学校演劇コンクール・多摩北地区大会」で創作劇『君をこえる日』を上演し、地区代表校(25校のうちの上位2校)に選ばれ、5年ぶりに「東京都大会」に出場しました。そして11月に東京都内全6地区の代表校12校が参加して「東京芸術劇場・中ホール」で開催された「東京都大会」では、「東京都高等学校演劇研究会賞」(第6位)を受賞しました。(東京都全体での参加校数は151校です。)



## 塩谷文部科学大臣らが本学を視察

2008年12月24日に塩谷立文部科学大臣、徳永保文部科学省高等教育局長、河村潤子文部科学省教育局私学部長らが本学新宿キャンパスを訪れ、大橋理事長、三浦学長、水野副学長、横山就職支援センター所長らと、最近の就職環境と内定取り消し問題について意見交換を行い、その後、新宿キャンパス2階のJOB STATIONを視察いたしました。

文部科学大臣から本学の就職状況や内定取り消しの実態についての質問があり、本学からは、「現時点では内定取り消しは深刻な事態になっていないが、内定取り消しを受けた学生への就職サポート体制を十分に整えている、もしも内定取り消しを受けた学生が4月以降も在学を希望する場合は、大学として特別救済措置を講ずることを既に決定している」との報

告を行いました。そして文部科学大臣より、今後とも、文部科学省は高等教育機関と協力して学生の就職活動を積極的に支援していくとの決意が述べられました。

意見交換の後、文部科学大臣らは2階のJOB STATIONを視察し、この場にいた学生たちに気軽に声をかけ、就職活動において、日頃の実力を存分に発揮するよう激励していました。

## 一級建築士試験合格者数は全国で第6位

2008年12月18日に国土交通省から平成20年度一級建築士試験「設計製図の試験」の合格者数が今年も発表されました。本学出身の合格者は、昨年より11名増えて82名、出身大学別合格者数では昨年と同じく全国で第6位でした。2004年に初めて大学別ランキングが発表されて以来本学は5位又は6位を保ち、ベスト10を維持しています。

今年の一級建築士試験は、7月に実施された学科試験と合わせると、合格率は8.1%の狭き門で、建築関係の最上位資格である一級建築士試験において、毎年、合格者数で上位となる本学の教育力と卒業生の努力が実証されています。

平成20年度一級建築士試験「設計製図の試験」の属性(大学)における合格者数一覧  
財団法人建築技術教育普及センター  
(<http://www.jaeic.or.jp>)より

順位	大学名	合格者数(人)
1	日本大学	262
2	東京理科大学	147
3	早稲田大学	124
4	京都工芸繊維大学	97
5	芝浦工業大学	95
6	<b>工学院大学</b>	82
6	明治大学	82
8	大阪工業大学	68
9	神戸大学	64
10	名城大学	63

## 渡邊洪基が饅頭になる

本学の初代管理長渡邊洪基の郷里は、福井県越前市(武生)。郷土が生んだ偉人を顕彰する試みとして、2008年に



越前市善光寺通り商店街が、渡邊洪基をテーマにした町おこしに取り組みました。その一環として、地元の菓子屋が渡邊洪基にちなんで、「とらやき」(どらやきと饅頭を組み合わせた新商品)を試作・納涼夜市で発売し、好評だったとのこと。

そこで本学は、今年度開催した第8回ホームカミングデーに参加いただいた卒業生へのお土産として、この御饅頭をお渡ししました。卒業生から「渡邊洪基先生の“夢”の文字が美しく、美味しそう」、「企画のアイデアも味も素晴らしい」と好評でした。

学校法人 工学院大学創立125周年 特別企画

渋沢栄一と工手学校

茅原 健



かや はら けん  
茅原 健  
昭和9年10月23日生



学歴・職歴

1934年東京に生まれる。中央大学法学部卒。  
工学院大学総務部次長、同学校法人評議員、同学園開発本部部長。学園街区共同事業体のエステック(株)の専務取締役。後、(財)日本私学教育研究所の専任研究員、事務局長、理事を歴任。現在、工学院大学参与(学園125年史編纂担当)。

主な著書

『民本主義の論客 茅原華山伝』、『新しい教育環境と学校施設』、『新宿・大久保文士村界限』、『工手学校』など。



幕臣の志士 渋沢栄一(ウィキペディア)

武蔵国(埼玉県)血洗島の一農民の出である渋沢栄一は、徳川御三卿一橋家の家臣となった、いわゆる幕臣である。工手学校の成立事情には、戊辰戦争のときに箱館五稜郭に籠城した大鳥圭介、榎本武揚などの旧幕臣たちが、渡邊洪基とともに形成した教育ネットワークという連帯があった。そこに、実業界の雄、渋沢栄一が工業立国を唱道して登場する。

渋沢栄一は、教育こそが「国光を発揮し国威を宣揚する原動力である」(『青淵百話』)という信念を持って



国立国会図書館蔵

いた。渋沢が関与した学校は、岩倉鉄道学校、高千穂学校、大倉高等商学校などがあり、伊藤博文(明治の元勳)、外山正一(明治時代の教育者)らと「女子教育奨励創立委員会」を立ち上げ、東京女学館を創設したように、女子教育にも熱心であった。

『渋沢栄一伝記資料目次』には、渋沢が関与した学校の記録がある。そのなかから、工手学校に関係する記事を拾い出すと、工手学校の手短な歴史となる。それを紹介しよう。

□明治20(1887)年10月

帝国大学総長渡邊洪基等、工手養成ヲ目的トスル一学校創設ノ意アリ。乃チ同月三十一日当校設立趣意書ヲ発表シ、汎ク同志ヲ勧誘スル所アリシガ、栄一亦此舉ニ賛シ、之ガ為メニ賛助員トナリ、且当校設立基金トシテ金二円ヲ寄付セリ、斯クテ是年二月、仮校舎ニ於テ、開校セシガ、其後校舎ノ購入並ビニ増築ノ事成リ是日新校舎ニ移転、開校式挙行セラルルニ当リ、栄一來賓トシテ之ニ臨ミー場ノ祝詞ヲ述ブ

渡邊洪基が草案した工手学校設立趣意書が、明治20(1887)年10月31日に発表されると、直ちに渋沢は賛同して、工手学校賛助員に名を連ね、設立準備の寄付に応じた。そのご、工手学校は、商工徒弟講習所の仮校舎から、築地の外人宣教師が経営していた健康社という病院の建物を購入し、築地校舎として出発した。その新校舎のお披露目式に、当時、通信大臣であった榎本武揚とともに列席した、渋沢栄一が祝辞を述べている。

□明治29(1896)年2月

是月九日、当校火災ニ遭ヒ校舎其他一切ノ備品悉ク焼失ス。茲ニ於テ十三日直チニ臨時管理委員会ニ於テ校舎ノ再築並ニ寄付金募集ノ事ヲ決議シ、汎ク関係諸方面ノ援助ヲ乞フ。栄一之ニ応ジテ金一百円ヲ寄付シ、

且石川島造船所取締役会長トシテ金三百円ヲ寄付セリ  
 明治29(1896)年2月9日、第14回卒業式の当夜、失火により築地校舎は焼失した。この時、渋沢は、再興資金として400円の寄付をした。明治28年に、夏目漱石が松山中学校に赴任したときの給料が月額80円のころの400円だ。この火災の時、皇室から500円のご下賜金を賜った。工手学校にとっては、まさに天祐であった。

□大正2(1913)年11月23日

是日芝公園ニ於テ、当校創立二十五年記念祝典挙行セラル。栄一之ニ望ミ祝辞ヲ述ブ

明治45(1912)年に迎えるはずであった、この式典は、明治天皇の崩御によって、延期挙行された。この式典に出席した渋沢の祝辞は、朗々として会場の隅々まで届いた。

□大正14(1925)年5月12日

是ヨリ先当校、大正十二年九月一日ノ関東大震災ニ罹災ス。仍ツテ当校校友及ビ出身者等ハ工手学校復興会ヲ組織ス。是日栄一、同会顧問ヲ受託ス

関東大震災により、築地校舎が全焼したとき、廃校論がささやかれたが、過去に皇室からご下賜金を賜った学校を孤児にするわけにはいかないと、第2代管理長の古市公威は、復興会会長を引き受けて学校再興に尽力した。渋沢も復興会顧問となって財政援助をした。

□昭和4(1929)年7月14日

是日、当校第八十回卒業式挙行セラル。栄一之ニ臨ミ、生徒ニ対シ訓話ヲナス

震災後、校地を新宿角筈に決めた工手学校は、昭和3(1928)年3月6日、淀橋校舎が完成した。その校舎で行われた第80回卒業式に、渋沢は来賓として訓話を述べた。

□昭和5(1930)年7月11日

是ヨリ先、昭和三年六月当校校舎竣工シ、同年八月

一日当校ノ組織ヲ変更シ、校名ヲ工学院ト改称ス。翌四年八月一日工手学校復興会ハ常務理事ヲ工学院管理長ヘ委任ス。是日工学院理事長真野文二、管理規定第二十一条ニ依リ、栄一ヲ同校顧問ニ推薦ス

昭和3年3月、卒業生の強い要望により、「工手」という低位の職制を冠する校名を嫌って、校名は「工学院」と改称された。子爵に列せられた渋沢は、工手学校の校長であった中澤岩太、石橋絢彦、的場中とともに、工学院の顧問に推挙された。

昭和13(1938)年10月29日に挙行された、工学院創立50周年記念式典の物故者慰霊祭のとき、初代特撰管理長の渡邊洪基、第2代管理長の古市公威、初代校長の中村貞吉とともに、工手学校(工学院)に対して終生変わらない支援を続け、昭和6(1931)年11月、その生涯を閉じた顧問・渋沢栄一の霊に対しても送魂の式が厳かに行われた。2012年に学園は、創立125周年を迎える。渋沢栄一没後80年のときである。



渋沢栄一(渋沢栄一史料館より)



工手学校創立25周年記念式典で挨拶する渋沢栄一



## 学校法人 工学院大学創立125周年 特別企画

# 飯田豊二と 日本統治時代初期の 台湾鉄道

蔡 龍保



Tsai Lung-pao  
蔡 龍保  
國立臺北大學歷史學系助理教授  
工学院大学客員研究員

学歴 1998年 国立台湾師範大学歴史学系学士  
2001年 国立台湾師範大学歴史学系修士  
2006年 国立台湾師範大学歴史学系博士

略歴 「台湾歴史辭典」執筆  
「台湾総督府文書目録」編纂  
2003.7-2003.9 財団法人交流協会日台交流センター歴史研究者招聘  
2004.7-2005.6 中央研究院台湾史研究所訪問学員  
2005.7-2006.6 中央研究院人文社会科学博士候選人培育計画  
2006.6 中華民國建築師學會榮譽會員  
2008.7-2008.9 財団法人交流協会日台交流センター専門家長期招聘  
2008.7-2008.9 東京大学文学部外国人研究員  
2008.9 卓銀永建築師事務所顧問兼計畫講師

専門 植民地時代の台湾交通史、土木史

メールアドレス henrytsai8@hotmail.com

## 一、工手学校と戦前日本の台湾経営

工学院大学の前身である「工手学校」は、渡邊洪基が掲げた「工業立国」「技術立国」の思想と使命のもとに、1887年に創立された。1895年日本は、最初の植民地として台湾を獲得し、積極的に植民地経営に乗り出した。技術者たちの思想や理念は「技術立国」から「技術植民」へと変わり、多くの技術要員たちが台湾のインフラ工事に投入され、工手学校の卒業生も少なからず台湾へと向かった。飯田豊二はこうした台湾へ出向いた卒業生の中で、鉄道事業で活躍した技術者である。1893年7月、飯田豊二は工手学校土木科を第9期生として卒業し、1897年台湾総督府に着任したのである。



図1 飯田豊二技師

## 二、飯田豊二の台湾における働き

### (一) 縦貫鉄道の調査

1895年8月、初代台湾総督樺山資紀が国防と統治の側面から、縦貫鉄道を建設することは一大急務であると日本政府に述べ、同時に参謀本部でも陸軍省に対して同様の要求を出した。1898年、台湾総督府は縦貫線調査を本格的に進めるために、技術者を積極的に募集したところ、同年3月、台湾総督府民政局通信課雇員として採用されたのが飯田豊二であった。1899年5月、民政長官後藤新平の招聘で臨時台湾鉄道敷設部技師長に就任した長谷川謹介は飯田豊二等27名の雇員、臨時雇員を迎え入れ、縦貫線の調査作業に投入した。飯田は臨時台湾鉄道敷設部の技手になり、南部線打狗—台南間の路線調査を担当した。

### (二) 阿里山森林運搬調査

1899年、時まさに台湾総督府鉄道部が縦貫線を敷設し、台湾本島で必要な木材が採れず、日本から大量輸入しなければならないという問題を抱えていた最中で、技師長の長谷川謹介は阿里山の木材に期待をかけ、飯田技手をさっそく派遣し、木材搬出の難易を調査させた。飯田は調査を通し、森林には豊富で使える木材があることを確認したものの、搬出がかなり困難であることも知った。飯田のこのたびの調査は、阿里山森林の運搬ルートを探り、後に大倉土木組の岸本順吉らが更に進んだ調査をする足がかりとなった。

### (三) 縦貫鉄道の建設

縦貫鉄道工事は1899年5月に始まり、1908年4月に竣工した。飯田豊二が参与した路線は打狗—濁水溪間の



図3 当時日本一長い橋と言われた下淡水溪鉄橋



図4 飯田豊二記念碑

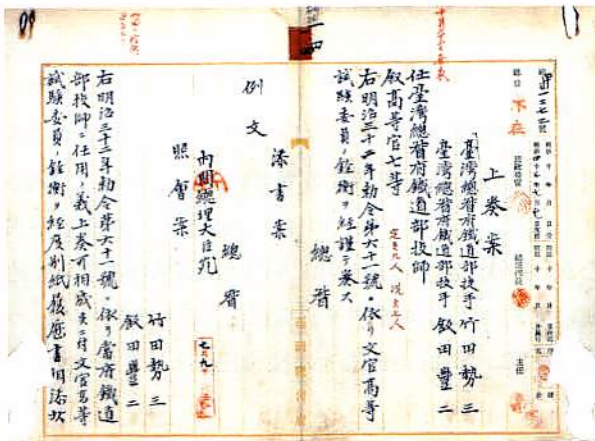


図2 鉄道部技師昇格の文書



図5 飯田豊二記念碑の碑文

南部線で、1899年11月から1904年12月にかけて、彼は打狗出張所の主任に就任した後、阿公店—台南間、台南—新市街間、新市街—湾裡間、湾裡—新營庄間、新營庄—嘉義間、嘉義—大莆林間、大莆林—他里霧間、他里霧—斗六間、斗六一林仔頭間といった区間の工事を監督し、縦貫鉄道南部線の建設に大いに貢献したのだった。

#### (四) 阿緞線と下淡水溪鉄橋の建設

1910年10月、飯田は技師に昇格した。これに伴い、阿緞線工事を任せられ、また縦貫線の鳳山支線を九曲堂から屏東まで伸ばして産業発展を刺激し、屏東地方を開発することとなった。飯田技師が九曲堂派出所主任に就任し、工事計画と監督を担当。1911年10月に工事が始まり、鹿島組がこれを請け負った。中でも最も困難だったのが下淡水溪の鉄橋工事であった。下淡水溪鉄橋は最新式の設計が施され、全長は5007呎(1.5km)、200呎(60m)のガーダー24スパンから構成された。かつて日本第一と称せられた京釜鐵道の鴨緑江鐵橋でも4,600呎(1.38km)なので、それよりも400呎(120m)も長いということになる。正に日本一の大橋となった。予算難、洪水、豪雨、暴風雨にみまわれ、工事は何回も延期してしまった。更に恐ろしいこともあった。九曲堂派出所付近でマラリアが蔓延し、工事期間に16名もの死亡者を出してしまった。飯田技師も、とうとうマラリア

に感染してしまい、1913年6月10日台南病院にて息を引き取った。1914年2月、大事業となったこの工事がついに終了した。打狗保線事務所長の小山三郎技師は飯田を偲び、「今日の成功を見せてやりたい」とこぼしたという。

### 三、盛大な葬儀と記念碑の建立

1913年6月13日、打狗本願寺にて飯田技師の葬儀が盛大に営まれた。葬儀の参列者は500名にのぼり、当時としては大変珍しい大規模な葬儀となった。鉄道部技師の小山三郎、元鉄道部技師新見喜三らは故人の功績を後世に伝えようと記念碑を建てることにした。1915年6月6日、飯田技師の三回忌の際、九曲堂にて除幕式が行われた。飯田の台湾鉄道における貢献は、小山技師が記念碑に書いたとおり、正に「為職忘軀、貽利於後、厥功厥名、庶幾不朽。(職のために身を忘れ、後世に貢献を残し、彼の働きと名は、不朽である)」であったといえよう。

# 私の飛行人生

瀬戸川 睦人



せとがわ むつ ひと  
瀬戸川 睦 人



## 学歴・職歴

1961年 城北学園高等学校卒業  
1965年 工学院大学機械工学科卒業  
日本航空K.K.入社  
2002年 日本航空K.K.定年退職  
2003年 國學院大學文学部史学科入学  
2005年 國學院大學文学部史学科卒業  
2006年 工学院大学就職支援センター勤務  
現 在 古代史の研究者として活躍中

航空機は離陸上昇すると一定の気圧高度を保って飛行する。機体は膨張し、降下着陸すると収縮して元に戻る。同時に速度は加速し亜音速飛行の後減速して0へ戻る。

この機体の膨張～収縮を耐用年数の基準となる1サイクルと称する。地上&空中、低速&高速はモード変化で感知する。低温～高温、静圧 / 高圧、燃料消費に伴う重量変化、重心位置の変化等は時間経過と共に進行する。

通称ジャンボ・B-747型機の最大離陸重量は836千ポンド、搭載燃料はドラム缶で1千本。1機400億円、エンジ

ン1基30億円、エンジンのブレード1枚200万円もする機材の整備技術は航空会社の生命線となる。操縦は訓練された操縦士、整備は地上の優秀な技術屋と整備士が当たる。航空機関士は飛行中に発生したあらゆる事象を的確に捉え、整備上の要件を正確に伝えるのが業務の一つである。これが航空日誌上の整備記録として永く保存される。

幾十万の部品で構成される航空機は人体に似て、金属の先端にまで神経が行き届く。センサーが集約した多くの



ジャンボの#3エンジン 於 ガラム



データは操縦室の計器に一部が代表的に表示される。これら計器上の表示が正常値を外れる兆候、或いは異常、更には緊急事態の状況を知らせてくれる。1サイクルの台形曲線上で航空機は運航される。

各システムのエアロダイナミックの連続作動を系統的に操作・モニターを行う運航は、いかに優秀な技術屋・整備士とはいえ三次元の高々度飛行中の問題点や飛行感覚については容易に解決しがたい要素を多く含む。運航と整備の間で航空機関士はこれら諸問題を容易に解決し、整備費用の軽減に大きく貢献してきた。近年は航空機メーカーによりパテント封印されたブラックボックスに置き換えられ、航空機メーカーの収益独占場となった。

S40年、日本航空入社以来B-727、DC-8、DC-10、B-747と4機種乗り継いで18,000時間の飛行経験をした。北は北極、東は太平洋、南はオセアニア、西はシベリヤ・欧州、南西は中近東・東南アジア各路線と世界中を飛び回った。免許資格は機種別である。機種変更の時は訓練乗員として略半年間訓練漬けとなるが、やがて教官職が回ってくる。

在職中、対面教育で延5~600名位教育したのだろうか!! 外国人訓練生は大抵私がクラス担任とされたので外国人集団の扱い方を覚える良い機会になった。私のキングスイングリッシュで押し通した。彼等が必死に聞き取ってくれたに違いない。運輸省航空局の試験官も私と同じ程度の会話力なので、「私の会話を確り聞き取れ」と教え込



7000フィートを降下中 於 米国カルフォルニア エルシノ湖畔

んだ(内緒)。マスコミを賑わす事も無くH14年7月ハッピーリタイヤーを迎えられた。滞在先では史跡を執拗に歩き廻った。大変面白い半生を送ったものである。今は歴史研究者として古の人々と向かい合っている。



プライマリー初飛行 於霧ヶ峰(1961年5月 大学1年)

赤(左) DIGITAL FLIGHT DATA RECORDER  
赤(右) COCKPIT VOICE RECORDER

翼を休めるジャンボ機 於モーゼスレイク訓練場

# 建築の力と 若者の力

## モード学園コクーンタワー

本田 昌義



ほんだ まさよし  
本田 昌義  
1976年(富山県出身)



### 学歴

2001年 工学院大学大学院 修士課程 建築学(山下司研究室) 卒業

### 経歴

2001年 丹下健三・都市・建築・設計研究所 入社  
2002年 丹下健三・都市・建築・設計研究所 退社  
2003年 丹下都市建築設計 入社  
2004年 西新宿プロジェクト(モード学園) 指名コンペに参加  
2008年 現在、モード学園コクーンタワー新築工事現場事務所にて設計・監理

「モード学園コクーンタワー」は、2004年に学校法人モード学園主宰で行われたコンペにより丹下都市建築設計が一等に選ばれたものである。コンペには国内外の設計事務所、ゼネコン設計部より提出された150案程度の中より選出されたと聞いている。中にはジャンヌーベルやノーマン・フォスターなどの世界的有名建築家も応募したと聞く。そもそもモード学園とは、ファッション系の専門学校として東京では有名だが、新校舎計画には、新たにコンピュータ系(HAL東京)・医療福祉系(首都医校)が加わり3分野の学校が入ることとなる。計画敷地は、新宿駅西口の旧朝日生命本社ビル跡地で工学院大学の斜め向かいに位置する。本計画は都市再生特別地区を活用し土地の有用性を図っており基準容積率1000%の敷地に対して1370%の容積を可能にしている。延床面積約80,900㎡、階数は地下4階・地上50階・塔屋2階で建物高さは203.65mとなっており敷地向かいの損保ジャパンビルとはほぼ同じ高さとなる。

建物名称である「モード学園コクーンタワー」の「コクーン」は



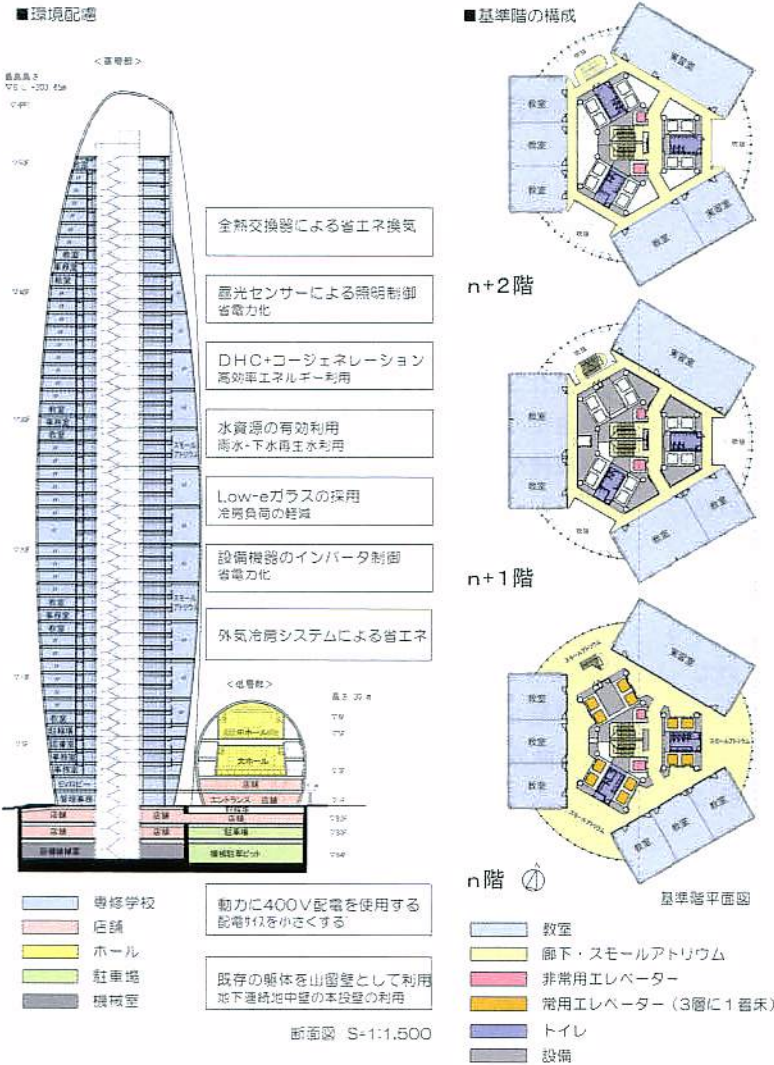
「繭」を意味するのだが、明日を創造する若者を包み込み、触発させるインキュベーション空間を表し、また衣服の基礎である生糸を纏った繭をイメージしている。

3エリアに分けられた教室空間は平面上矩形となっており外観からは想像できないほど快適で高効率の空間が確保されている。また中央部にELV、階段などの縦動線を配置しており、それを囲むように廊下が設けられているが、3エリアに分けられた教室空間は緩やかな楕円曲線を描き、それを繋ぐように三層ごとにスラブを設け立体キャンパスを

配置している。立体キャンパスは地価の高い新宿に於いて屋外キャンパスが持てない代替として設けており、そこが学生達の集い憩える場となることを望んでいる。

現在、建物は外装がほぼ完成し、完成引渡しまであと2ヶ月程度となっている。(2008年7月末現在)日を追う毎に建物は全体像をあらわにし、それと比例して建物に対する反響は大きくなっている。

丹下健三が1955年に発表した論文の一文に「安易な機能主義を否定し、社会を形成する建築は美しいことによるのみ流布し、やがて機能として根付く」という言葉がある。建築は都市をつくる。一方で建築はそこで働く者や学ぶもの、またそこで暮らす人によって培われてゆく。コクーンタワーは完成すれば約1万人の学生がそこで学ぶこととなる。建築の力と若者の力により、新たな新宿の未来を創造する糧となるか。微力ながらその大きな挑戦に係わることが出来たことを誇りに思う。



# 体に染み込んだ 潜在的な知識が 企業体質と 業態を変革

津上 健一



津 上 健 一  
(トッキ株式会社 相談役名誉会長)



## 学歴・職歴

1962年 工学院大学 工学化学科卒業後 一部上場の工作機械メーカーに就職  
1967年 津上特機(現トッキ)を創業、生産システムの無人化・省力化の事業(FAシステムインテグレーター)を促進  
1991年 店頭市場(現 ジャスダック市場)に株式上場を果たす  
1999年 世界初の有機EL製造装置を開発・製造  
2006年 有機照明製造装置・有機EL太陽電池製造装置を開発・製造  
2006年 化合物太陽電池製造装置を開発・製造  
今後も地球環境の改善に適用した事業に注力していく予定です。

戦後の復興期、高校で工業化学を学んでおり、日本は化学による新しい産業が伸びてゆくと確信していた面もあって必然的に大学も工業化学を学ぶことになりました。本学を選んだのも総合大学より単科大学で「工業化学」をじっくり勉強したいという思いもありました。

工学院大学に入学した当時は今のような超高層ビルが無かった時代で、新宿駅から4階建ての校舎が見えました。校歌の一節に「校舎も高くそびえたり」とあり、超高層の立派なキャンパスで学んでいる今の学生には信じられないでしょうが、大学の裏手は満々と水をたたえた淀橋浄水場があり、本当に西新宿はのどかな街でした。卒業実験などで研究室に泊り込みになる事もありましたが、お腹がすくので屋台で売りに来るおでんなど良く食べていました。

私の専攻は有機化学で花王石鹼(現花王)出身の麦島与研究室に入りました。麦島与先生は単なる学者肌ではないところに魅力を感じたのです。

先生は固形の洗濯石鹼に替わる粉石鹼を開発した方でご自身もそれを自慢の様子でした。いつも「大学での研究が企業貢献や社会に役立つことを考えながら取り組みなさい」と指導されていましたが、先生のお話はご自身の体験談からくるもので本当に役立ち潜在的にその教えが体に染み込んでいたと考えられます。

大学を卒業するに当り本来なら化学関係の会社に就職するのを考えていましたが、麦島先生の企業での活動の話や教えから将来は起業することによって社会貢献できることを考えるようになっていました。その為親戚が東証一部

上場会社の工作機械メーカーを経営しており、尊敬していた創業者に直談判して就職することになりましたが、創業者からは「家業と思って取り組み」と言われた事もあり経営者の認識をもって一生懸命働きました。

入社3~4年目頃から産業界は自動化や省力化など製造業の形態に変化が出始めていました。私も複数の工作機械やロボットを組み込んだ生産システムの時代になると予見していました。これらを具現化するために1967年(昭和42)7月「津上特機(株)」(現トッキ)を創業しました。

これは顧客ニーズに合わせて付加価値を付けた特殊機器(専用のツールやロボットなど)によってシステム化をすることを理念として取り組みました。

創業2年目に四つの経営理念であり行動規範として社員に徹底するものを設定し、現在まで経営のバックボーンとしています。

## 「積極進取」

トッキの社員は変化する時代に挑戦するよう積極的に問題に取り組もう

## 「創意革新」

トッキの社員は常に新しいアイデアをもち仕事に対して開拓と革新の意識で行動しよう

## 「誠実努力」

トッキの社員は誰からも信頼される人間になる為に自己啓発に努力しよう

## 「親和発展」

トッキの社員は和の心を持ち常に英知を結集し社業の限りない発展と豊かな生活を築くよう努力しよう

この経営理念と行動規範が当社の時代を先取りする技術革新によって企業体質の変革を推進して成長してこれたと思っています。



1991年「親和発展」の理念から5カ年計画を推進した結果、念願の株式上場（現ジャスダック市場）を果たすことができました。それ迄の主体事業は、工作機械のシステム化や産業ロボットによる無人化・省力化システムの構築事業（FAシステム・インテグレーター事業）でしたが、「積極進取」の理念である変化する時代に挑戦するべく、従来のサブビジネスであった真空技術応用装置製造に本業の主体を移してまいりました。

これは当社の強みである産業ロボットシステム技術と精密機械の技術、そして真空応用技術を融合化して新しい「真空技術応用装置」メーカーへの変革であり、それに適した「有機EL（エレクトロルミネセンス）ディスプレイ」製造装置の開発製造に取り組む事になりました。

有機ELとは有機化合物をガラス基板に真空装着された発光パネルのことで自発光のため液晶のようにバックライトが不要であり省電力、高速応答性など次世代のディスプレイパネルと言われていています。現在では11インチで厚さ3ミリの超薄型テレビや携帯電話の表示パネルなどで実用化されつつあります。また地球環境問題から有機ELの応用技術として有機EL照明や有機EL太陽電池などの製

造装置の開発製造にも取り組んでおります。  
一方 シリコンを使用しない次世代太陽電池として化合物太陽電池が注目されていますが逸早く量産装置を開発製造し、市場に投入しました。

現在では当社は有機ELパネル製造装置としては世界トップメーカーであり量産機では世界シェア8割を占めることができています。

この様に新しい有機EL製造装置や太陽電池製造装置に進出できたのも高校・大学で7年間修得した化学の知識が私の体の中に潜在的に有ったからこそ出来たビジネスといえます。

事業を経営するに当り、また人生にも何度かの転機あるものですが、潜在的に染み込んだ学問が思いがけないときに役立つ事があるものです。

私に有機化学の知識がなかったら、ここまで有機ELビジネスを成長させることが出来なかったと思います。大学での勉強は基礎をしっかり身に付ければ学んだ学問や技術を生かすチャンスは日々の行動のなかで生まれてくるものと改めて感じています。

有機EL応用商品群



携帯音楽プレーヤー



有機EL搭載携帯電話



3.5インチポータブルTV



11インチ有機EL TV



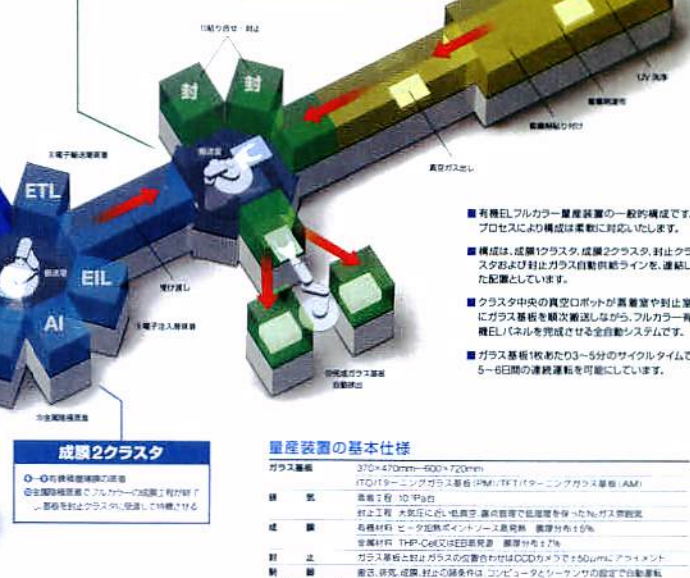
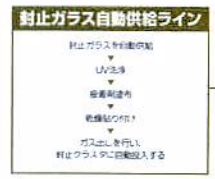
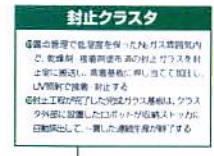
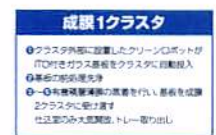
有機照明



量産製造装置（一部）



有機太陽電池



量産製造装置の概念図

# 駅 探

## ～お役立ちサービスの 開発秘話を交えて～

唐崎 幸弘



から さき ゆき ひろ  
唐 崎 幸 弘



### 学歴・職歴

工学院大学 電子工学科 情報工学コース 83年卒 長嶋秀世研究室  
 工学院大学大学院 電気工学専攻 85年修了 長嶋秀世研究室  
 1985年 ㈱東芝入社 情報システム事業本部青梅工場配属 ワープロソフト設計担当  
 1997年 パーソナル情報機器設計部 基本ソフトウェア設計担当  
 1998年 マルチメディア技術研究所開発第一部 技術担当  
 2000年 ㈱東芝iバリュウクリエーション社(現事業部) サービス技術開発担当  
 2002年 ㈱東芝iバリュウクリエーション社(現事業部) WebTopサービス 技術開発グループ長  
 2003年 ㈱駅探探険倶楽部設立 同社取締役技術部長  
 2005年 情報処理学会 平成16年度業績賞を受賞  
 2008年 ㈱駅探に社名変更 同社取締役  
 現在に至る

連絡先 karasaki@ekitan.co.jp

### 1. はじめに

近年、インターネットの普及により、乗り換え案内がインターネット上のサービスとして提供され普及しています。乗り換え案内を中心としたお役立ちサービス「駅探」をご存知でしょうか？ 駅探は1997年5月に初の実際の時刻データにもとづいた乗り換え案内の提供を首都圏140の駅で開始しました。その後、関西、東海、九州エリアへの拡大を経て、現在は全国約500路線、約9000駅と航空路線をサポートした乗り換え案内サービスを提供し、WEBサイト「駅探」では1日に250万件（検索回数）を超える利用があります。駅探は東芝の一部門で開始され、2003年に株式会社駅探前探険倶楽部として分社独立、2008年に株式会社駅探と社名変更しました。

本稿では駅探のサービスの開発秘話を交えながらその概要と乗り換え案内技術について紹介します。

### 2. 駅探のサービス

駅探は、乗り換え案内を中心とした、駅周辺の情報やお出かけに関する便利な情報をインターネットを通じて提供のお役立ちサービスです。PC、携帯をはじめ、PDA、iPhone、デジタルテレビ（日テレ駅探）などさまざまな端末へ向けてサービスを行っています。現在は、毎日200万人以上のユニークユーザーにご利用いただいておりますが、実は最初は東芝のデータ端末Genioの販売促進のために、開発したものです。当時（1997年2月）、インターネットはまだ一般のユーザーの認知度は低く、ましてや携帯端末では、回線速度も遅く、画面サイズも小さく、解像度も低いいため、ここで見る実用的なコンテンツはまだほとんどなかったのです。

Genioもハードウェアを発売したものの、「この携帯端末で何を見るの?」という状態でした。インターネットでオンラインで、しかも外出先に役に立つ情報を見たい。こういったニーズはありましたが、役に立つ情報とは何か、が問題でした。当時の開発者は、駅での時刻表や、実際の列車の運行にそくした乗り換え案内の検索ができれば、外出先でも見る価値がある、と考え、開発を開始しました。当時は、列車ダイヤのデジタル情報はありませんでしたから、ダイヤ改正の当日に、東芝の社員が駅へ行き、紙の時刻表を集めてきて、それをインプットし、各駅の時刻表を列車情報に加工、また、駅での路線の接続の情報（各路線ごとの乗り換えの可否、そのときの所要時間、改札の通過数、切符の購入の必要性、階段やエスカレータの数、混雑度、など）を実際に実測し、さきの列車情報と組み合わせて乗り換え案内を実現しました。当時は、山手線を中心に首都圏140の駅を対象にこのような調査を行い、インターネットで初の実際の時刻データに基づくサービスを開始したのです。それ以前から、PCの



TOSHIBA ポケットコミュニケーション「GENIO (ジェニオ)」, PCV100

図1 初代Genio



図2 駅探サービス画面の例

アプリケーションソフトで、乗り換え案内の経路や料金を求めるものがありました。いずれも実際の時刻表に基づいているものでありませんでした。われわれの行ったサービスは、外出先でリアルタイムに役に立つものを目指したのです。

その後、携帯電話の普及、特にimodeの開始(1999年)により、携帯端末でのコンテンツ利用が当たり前の時代になりました。駅探はimodeの開始当初から公式コンテンツとして、サービスを提供しています。

PC端末向けWEBサイト「駅探」(<http://ekitan.com/>)では乗り換え案内のサービスの他にも、鉄道の運行情報案内、乗り換え案内と地図を組み合わせ、任意の出発地から目的地までの行き方を案内する「まるごとナビ」、駅の周辺情報をわかりやすい路線図で案内する路線図周辺情報等の様々なサービスを提供しています。

携帯向けのサービスでは、外出時の利用を想定しています。これは、駅探のサービス開始時のコンセプトです。GPSによる最寄駅検索、乗り換えに便利な乗車位置の案内、



乗り換え結果画面で横向きに回転させると、途中駅(通過駅・停車駅)を表示します。

図3 iPhone向け駅探画面

駅の出口情報案内、終電検索機能などを充実させています。また列車の遅延情報等をリアルタイムにメールで配信する運行情報案内も行っています。

携帯端末の新しい形として注目を集めているiPhone、iPod touch 向けのサービスも2008年から開始しました。

### 3. 乗り換え案内エンジン

駅探の乗り換え案内エンジンは、東芝の技術を用いて、実際の時刻表や、駅の乗り換えに関する実測情報に基づいて独自に開発を行いました。東芝の持っている、データベースサーチ技術、日本発のワープロで培った日本語処理技術、膨大な組み合わせの中から最適解を求めるためのルート検索技術をベースとしています。駅と路線の表現も、同じ駅であっても路線間の乗り換えや、近くにある別の路線の駅との乗り換えなどもモデル化して実現しています。

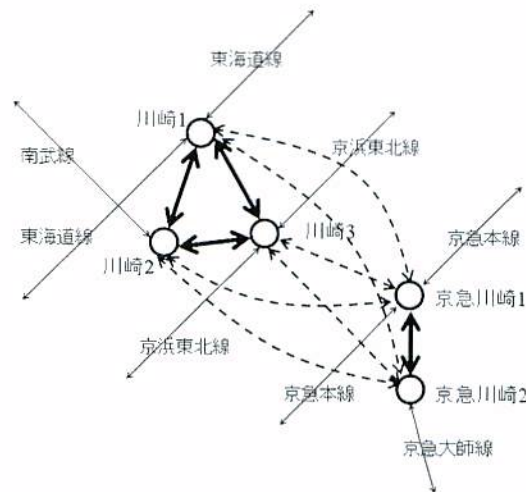


図4 乗り換へのモデル化の例

図4で川崎駅を例に説明します。点線が徒歩、太線が乗り換えを表しています(細い実線は電車の路線です)。徒歩や乗り換の重み(所要時間)は、各駅の方面別に実測した所要時間をもとに、改札口の通過数や階段・エスカレータなどの考慮、切符購入の時間、ホームにおける待ち時間さらには道路を通行する際には信号の待ち時間も考慮してあります。これにより、実際のお出かけの際に「使える」経路案内を実現しています。

### 4. まとめ

駅探のサービスおよび乗り換えエンジンの概要を、駅探の開発秘話を交えてご紹介しました。駅探のサービスは、単なる「検索」ではなく、実際に移動するときに役に立つ「つかえる」サービスをポリシーに、開発当初から取り組んでいます。今後、よりいっそう「つかえる」サービス目指してまいります。みなさんもぜひ駅探のサービスをご利用ください。

# 文化財を未来につなぐ

田中 文彦



た なか ふみ ひこ  
田 中 文 彦  
昭和21年9月29日生

**学歴・職歴**

工学院大学附属高等学校 建築学科 1966年卒業  
有限会社 田中木工 代表取締役  
NPO特定非営利活動日本伝統建築技術保存会理事

**著書(協力)**

図解 木造建築伝統技法事典

**主な工事**

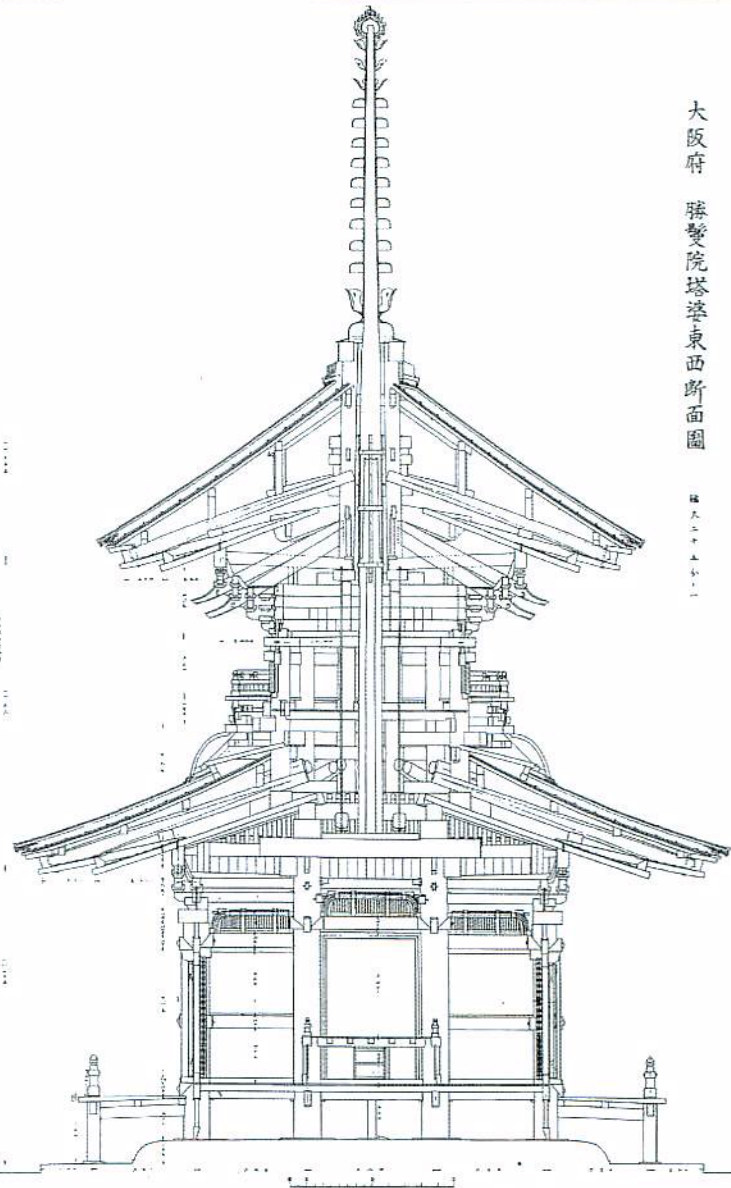
横浜市指定文化財西方寺本堂解体修理工事  
東京都指定文化財高乗寺鐘桜堂  
東京都指定文化財広徳寺

日本の文化財が危機を迎えつつある。このような話をきいたら、その理由として私たちは何を想像するだろうか。

いうまでもなく日本には、いまでは世界の人々の共有財産だといってよい神社仏閣や古い町並み、伝統的な民家などさまざまな木造文化財ある。さらに建物自体の価値はさほどなくても、地域の歴史、文化とともに維持されてきた村や町のお堂などの文化財もある。

この木造文化財は定期的に修理をすることによって守。ところられてきた。ところがこの時必要な補修用材の確保が、次第にあやうくなりつつある。私たち官大工をはじめとする、文化財維持に欠かせないさまざまな伝統技術の継承も簡単ではなくなっている。また社会の変化や村の過疎化も地域文化の維持を困難にしている。私たちは日本の精神文化をつくりだした文化財を未来に残したいと思う。そのためには今日生じている困難をひとつづつ解決していかなければならない。

伝統技法の継承はできるのだろうか。広徳寺の解体修理は10年の歳月をかけて完成した。どこまで解体し、どこから作るのか。バラシ(ほこす)ながら分別し、継ぎ足す、変形してもそれを直し使う。このような中から先人達の伝統技法の蓄積とその豊かさを学ぶ。そんな智慧を編纂して出来たのが「図解 木造建築伝統技法事典」であり、伝統技法の継承に役立つと信じている。

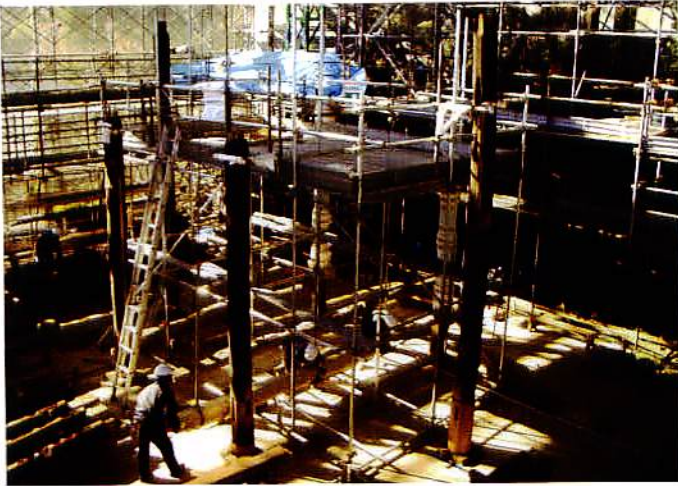


大阪府 藤髪院塔婆東西断面図

編 著 田 中 文 彦

6 (1)





# 古代のハイテク

佐藤 利美  
(刀匠・重利)



さとうとしみ  
佐藤 利美  
昭和19年(1944年)生まれ

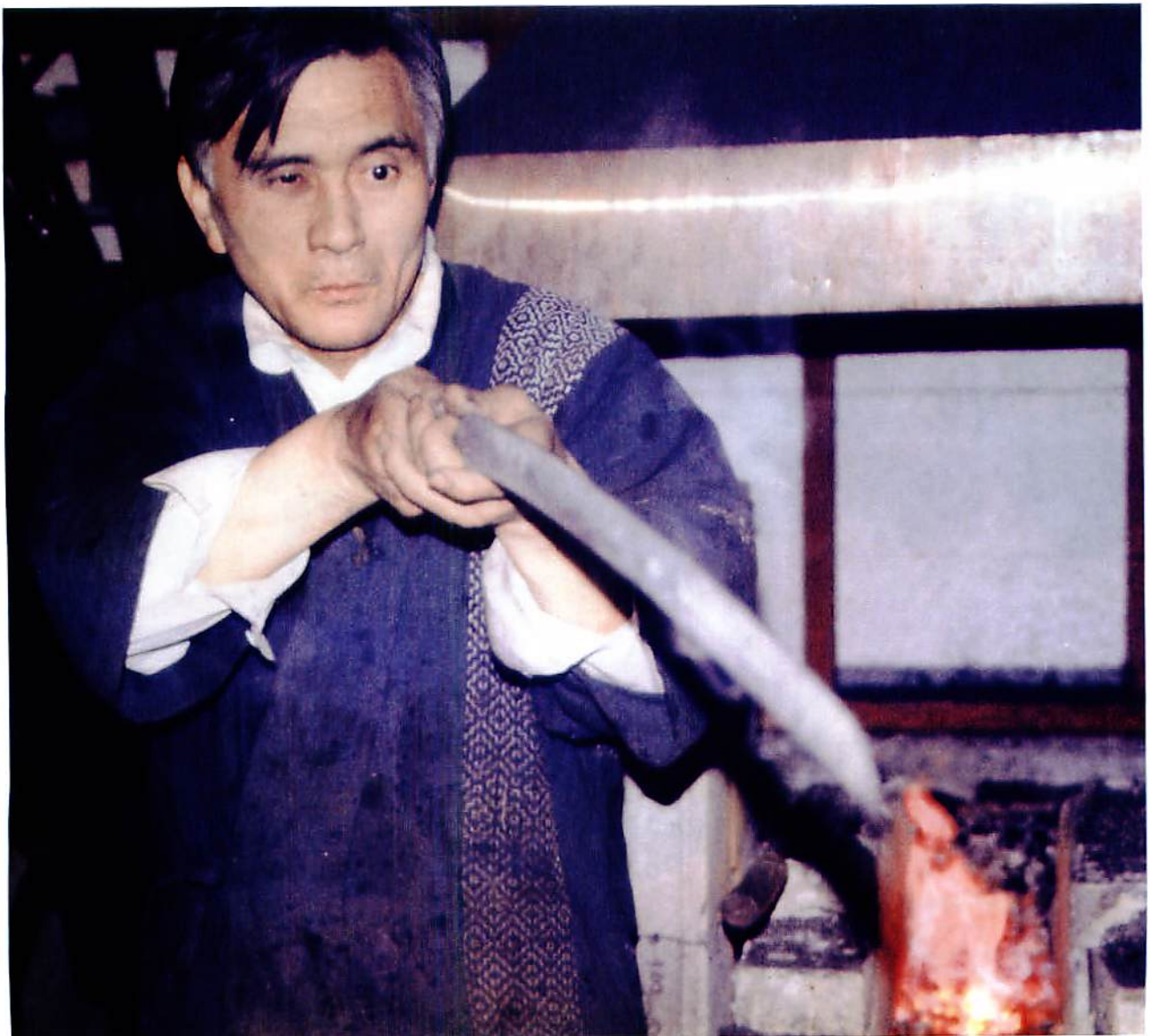
## 学歴・職歴

1982年より刃物作りを始める  
1987年 工学院大学 専門学校 第186回金属加工科卒  
(南北誠社代表取締役)  
1992年 文化庁より刀匠承認される  
八王子市在住 作刀に励む・刀匠名、八王子住重利

現代日本社会において最も不必要な刃物、刀を作って居るのが私の仕事なのです。ところが現在最も不必要とされているはずの刀を何故打って居るのかと申しますと、千年以上前から作られている刀作りの伝承が途絶えてしまう

ので、文化庁は限られた人たちに年間二十四振りという制限をもうけて、作刀を認証しているのが刀匠と言う仕事です。

私が刀を作り始めまして一番に驚いた事は、今も千年以



上前と作り方が全く変わっていないと言う事です。言い換えますと、昔ながらの手法がそのままタイムスリップしたのが刀作りと言えるのではないでしょうか。

すなわち千年前の刀作りは、当時のハイテクを駆使した技術の最高峰というわけです。それは刀を持って命がけで戦うわけで、刀は命のやりとりをする道具としての役目が大なので作り手としてもいいかげんな作りでは認められなかったのが、当時としては最高の技術での作刀に励んだものと思います。

その技術は今現在も改良の余地も無い位の完成したものとなっています。全く頭が下がります。その代表的な例が、「刀は折れず、曲がらず」と言う冶金学から見た矛盾する熱処理をされて居りその結果が刀の刃紋と言うわけです。刃先は物を切るための焼きが入って居り、真中から峯にかけては焼きが入らない部分で、その境目が刃紋と言う事です。

現在大勢の人はその刃紋に名称を付けて直刃(すくは)、乱れ刃・のたれ刃とか言うておりますが、本来は「折れず、曲がらず、よく切れる」を目的とした熱処理を施した刀作りの結果として出来たのが刃紋であります。

全く昔の人は良く考えた物と感心致します。それでも私は私なりに現代の科学を用いての刀作りを致して居り、その一例が抜刀用の刀作りであります。

それは四方詰と言う造り込みで、炭素量の違う材料を4個用意して組み合わせて鍛接をして刀作りをします。その時一番気を使うのは炭素量の調整であります。

炭素量が0.4から0.75%迄4種類作るので気を付けて作業をしますが、一寸気を緩めるとすぐ脱炭して炭素量不足と言う事になります。

ちなみに観賞用の美術刀は甲伏せ作りと申しまして2種の材料の組み合わせで作りますので手間が半分位ですみますが、刃紋に気を使います。

次に私の刀の一例を申し上げます。

それは日本でサッカーのワールドカップが開催される事に成った2002年頃に鹿島で市民が参加出来る記念行



事をやる事に成り、それが2.5mの平成の大直刀の完成につながったのです。もともと鹿島には18年位前から「たたら製鉄」を教えに行って居ましたので、玉鋼を作るのは手馴れたもので、それで市民が全員参加をして砂鉄を1トン集めまして、その砂鉄を吹いて玉鋼を100kg以上作りました。

その材料を鍛えて出来上がったのが今現在鹿島スタジアムに常設展示をしてあります「平成の大直刀」です。校友の皆さんも機会がありましたら、是非一度見に行ってみて下さい。もともと鹿島神宮には千年前位昔に作った長さ2.7mほどの師霊剣(ふつのみたまのつるぎ)がありましてそれに負けない大直刀を作ろうと言う事でしたが、神様に失礼の無い様に長さ2.5mに致しました。

この「平成の大直刀」は刀の呼び名の通り平成の時代にもこういう刀鍛冶が居たのだと言う証で作りました。

最後に成りましたが、私が刃物や冶金学を教えてくれる所が無いのかと探して居ました所、運良く工学院大学専門学校金属加工科(夜間部)に入学出来、そこでの恩師坂田(後の西沢)先生に徹底的に炭素鋼の事を教わり今も大いに利用して居ます。

ちなみに工学院大学専門学校120年続いた歴史の中で一番長い金属加工科コースの最後の卒業生と言うおまけまで付きまして、卒業生3名いずれも40歳過ぎのオジジばかりで小生42歳でした。

科学は学者のために有るので無く我々職人が科学と技術とを融合した物作りに活かしてこそ科学が生きるのではと私は思っています。

# 工学院大学 校友子女特別選抜入学試験を実施します!

工学院大学では入学を希望される校友の皆様の子女を対象にした特別選抜試験を2008年度から実施しています。

工学院大学校友会では、校友の皆さまの技術者への志、120年を超えて技術者を育成してきた学園の建学の精神が、この選抜試験により次の世代にまで継承されることを大いに期待しております。

概要、過年度の入試結果は次のとおりですが、詳細につきましては必ず工学院大学アドミッションセンター入学課発行の募集要項(8月下旬から配付、無料)をご確認ください。

## 出願資格

次の要件をすべて満たしている方

- ①高等学校もしくは中等教育学校後期課程を卒業した方  
および2010年3月卒業見込みの方、または高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方。
- ②本学園(大学・大学院・高等学校・中学校・専門学校およびこれらの前身の学校を含む)卒業生・修了生の子、孫、甥、姪。
- ③高等学校もしくは中等教育学校後期課程の全体の評定平均値が3.2以上の方。

## 共通事項

### 校友子女特別選抜・校友教諭在職高校特別推薦入試結果

学 部	学 科	募集 人数	校 友 子 女				校 友 教 諭 在 職 高 校	
			2008年度		2009年度		2009年度	
			志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
工 学 部 第 1 部	機械工学科	若 干 名	2	0	0	0	0	0
	機械システム工学科		1	1	2	2	0	0
	*応用化学科		1	1				
	*環境化学工学科		1	1				
	*マテリアル科学科		0	0				
	*応用化学科				0	0	0	0
	*環境エネルギー化学科				0	0	0	0
	電気システム工学科		0	0	3	2	0	0
	情報通信工学科		0	0	0	0	0	0
	建築学科		7	5				
	建築都市デザイン学科		1	1	2	2	1	1
工 学 部 第 2 部	情報通信メディア工学科					0	0	
	建築学科					0	0	
情 報 学 部	コンピュータ科学科			4	3	1	1	
	情報デザイン学科			5	3	5	5	
グローバルエンジニアリング学部	機械創造工学科			1	1	1	1	

\*注) 応用化学科、環境化学工学科、マテリアル科学科は2009年度から応用化学科、環境エネルギー化学科に再編されました。  
建築学科と建築都市デザイン学科は、2009年度は「建築系学科」として募集しました。  
校友教諭在職高校特別推薦は、工学部第2部でも実施しています。

### 2010年度募集学部・学科・人数

学 部	学 科	募集 人数
工 学 部 第 1 部	機械工学科	若 干 名
	機械システム工学科	
	応用化学科	
	環境エネルギー化学科	
	電気システム工学科	
	情報通信工学科	
	建築学科	
	建築都市デザイン学科	
工 学 部 第 2 部	情報通信メディア工学科	若 干 名
	建築学科	
情 報 学 部	コンピュータ科学科	若 干 名
	情報デザイン学科	
グローバルエンジニアリング学部	機械創造工学科	若 干 名

注) 工学部第2部は、校友教諭在職高校特別推薦のみ実施。

## 選考方法

書類審査、面接、基礎学力調査(数学、英語)

## 試験日程

出願期間:【郵 送】10月15日(木)~10月28日(水)消印有効

【窓口※】10月15日(木)~10月29日(木)

※新宿校舎2階 入学SUPPORT CENNTERで受付  
ます。

選 考 日:11月7日(土)

選考場所:工学院大学新宿校舎

合格発表:11月14日(土) 郵送で通知します。

## 問合せ・試験要項請求先

〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

工学院大学 アドミッションセンター入学課

TEL:03-3340-0130 FAX:03-3342-5304

ホームページ: <http://www.kogakuin.ac.jp>

## 工学院大学 校友教諭在職高校特別推薦入学試験を実施します！

工学院大学では、2009年度入試から校友教諭在職高校特別推薦入学試験を実施しています。これは、工学院大学を卒業または修了された校友が教諭として勤められている高等学校に、これまでの指定校推薦などとは別に推薦枠を設ける特別推薦入試です。

工学院大学校友会では、校友の皆様を通じたこの推薦試験により、学園の建学の精神に共感した意欲あふれる生徒の皆さんが入学されることを大いに期待しております。

本試験の概要は次のとおりですが、ご関心のある校友の先生は是非とも下記、工学院大学アドミッションセンター入学課までご連絡ください。

### 推薦対象高校

工学院大学を卒業または修了後、5年以上経過した方が本特別推薦入試出願時に専任教諭（以下「校友教諭」と言います。‘教職歴5年以上’ではありません。）として在職している高等学校を対象とします。

### 推薦人数枠

1 高等学校あたり2名までとします。出願には当該高等学校長の推薦を必要とします。

### 推薦基準点

推薦基準点は設けません。

### 出願までの流れ

- 1) 本入学試験の詳細問い合わせ  
(校友教諭 ⇒ アドミッションセンター)
- 2) 募集要項送付 8月下旬  
(アドミッションセンター ⇒ 校友教諭)
- 3) 出願  
(受験者 ⇒ アドミッションセンター)

### 出願資格

次の要件をすべて満たしている方

- ① 高等学校もしくは中等教育学校後期課程を2010年3月卒業見込みの方。
- ② 工学院大学を卒業または修了後5年以上経過し、かつ現在当該校に在職している専任教諭から、人物、学力とも優れていると認められた方。
- ③ 当該学校長から推薦を受けた方。
- ④ 本学の教育目的を充分理解した上、本学で学ぶことを強く希望する方。

## 教員をなさっている卒業生・修了生の皆様、情報をお寄せください。

### 工学院大学教職課程からのお願い

皆様ご存知のとおり2009年度から教員免許更新制が実施されることとなりました。それに伴い、本学でも更新講習の開催準備をしております。詳細については改めて御案内いたしますが、卒業生・修了生の皆様にはぜひ本学での更新講習を受講いただくようお願い申し上げます。

この機会に本学卒業生・修了生で教員をされている皆様のネットワークを作りたいと存じます。卒業生・修了生で教員をされている皆様、**学校種(小、中、高、特別支援等)や採用形態(常勤・非常勤等)にかかわらず**、次の事項をお知らせくださるようお願い申し上げます。また友人、先輩、同僚など同窓生で教員をされている方をご存じの場合も合わせてお知らせ下さい。

1) お名前、2) 卒業学科(修了課程)、3) 卒業(修了)年月、

4) 取得免許状、5) 勤務校、6) 担当教科、7) 役職、8) 資料等送付先(自宅住所または勤務先所在地)、9) 電話番号、10) FAX番号、11) メールアドレス  
連絡は、郵便、FAX、メールのいずれでもけっこうです。  
提供いただいた情報は教職課程として責任を持って管理し、大学としての資料送付と連絡にのみ利用し、それ以外での利用をしません。

※今後、教員になる予定の方のご連絡もお待ちしております。

<連絡先> 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2  
工学院大学新宿教務課教職担当(池田)  
電話:03-3340-0884 FAX:03-3342-5304  
e-mail:skyomu@kogakuin.ac.jp

# 学園創立125周年記念事業募金のお願い

校友会募金委員会 委員長 高田 貢

学校法人工学院大学は2012年(平成24年)に節目となる創立125周年を迎えるに当たり、記念事業(総事業費50億円、うち15億円は募金で対応)が策定され、昨年4月より活動が開始されております。われわれ工学院大学校友会におきましても、学園の更なる発展を願い、記念事業募金活動を学園と一体となり推進することとなりました。

つきましては、昨年7月に「学園創立125周年記念事業校友会募金委員会」を発足させ、校友会として募金目標を下記のように定め、全組織を上げて募金活動を開始しております。このところ米国の金融危機に端を発し、百年に一度と言われる未曾有の厳しい経済環境下では有りますが、学園創立125周年記念事業の一大記念イベントを校友各位のご理解とご厚意により、成功させたいと存じますので、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 【校友会募金活動の概要】

1. 校友会の募金目標金額を3億円と定め活動する。
2. 募金活動は6同窓会単位で、所属会員数に応じた分担額を定め活動する。
3. 募金活動については各同窓会および各支部の活動指針に基づき対応する。
4. 募金活動期間は平成20年4月から平成25年3月までとし、その間の実績を把握し募金活動を推進する。

## 【校友会募金目標金額と平成21年3月31日現在の実績】

〔校友会および各同窓会別実績〕

	目標金額(円)	実績金額(円)	達成率(%)
(同窓会分担額)			
1) 機械系同窓会	55,300,000	5,846,000	10.6
2) 応化会	41,100,000	1,333,000	3.2
3) 電気電子情報同窓会	53,900,000	6,195,000	11.5
4) 建築系学科同窓会	52,600,000	4,588,000	8.7
5) 附属高等学校同窓会	25,400,000	550,000	2.2
6) 専門学校同窓会	51,700,000	805,000	1.6
(計)	(280,000,000)	(19,317,000)	(6.9)
(団体扱い分担額)			
校友会	20,000,000	0	0.0
支部・その他		0	0.0
合計	300,000,000	19,317,000	6.4

〔会員の所属都道府県別実績〕

支部名	募金目標額(円)	募金実績(円)	達成率(%)	支部名	募金目標額(円)	募金実績(円)	達成率(%)	支部名	募金目標額(円)	募金実績(円)	達成率(%)
北海道	2,200,000	190,000	8.6	新潟	4,100,000	120,000	2.9	広島	1,700,000	0	0.0
青森	1,100,000	0	0.0	富山	2,200,000	0	0.0	山口	700,000	0	0.0
岩手	1,300,000	0	0.0	石川	1,400,000	0	0.0	徳島	300,000	0	0.0
宮城	1,300,000	90,000	6.9	福井	600,000	0	0.0	香川	500,000	0	0.0
秋田	900,000	0	0.0	山梨	4,900,000	0	0.0	愛媛	600,000	0	0.0
山形	1,100,000	2,000	0.2	長野	6,200,000	80,000	1.3	高知	500,000	20,000	4.0
福島	2,900,000	45,000	1.6	岐阜	900,000	0	0.0	福岡	1,200,000	50,000	4.2
茨城	7,500,000	45,000	0.6	静岡	9,600,000	193,000	2.0	佐賀	300,000	0	0.0
栃木	4,900,000	103,000	2.1	愛知	2,200,000	40,000	1.8	長崎	400,000	0	0.0
群馬	4,800,000	100,000	2.1	三重	1,000,000	0	0.0	熊本	400,000	0	0.0
埼玉	42,500,000	576,000	1.4	京滋	700,000	100,000	14.3	大分	600,000	20,000	3.3
千葉	19,800,000	460,000	2.3	大阪	1,100,000	0	0.0	宮崎	600,000	0	0.0
東京	100,350,000	9,955,000	9.9	兵庫	1,200,000	30,000	2.5	鹿児島	700,000	0	0.0
川崎	5,500,000	625,000	11.4	奈良	200,000	0	0.0	沖縄	700,000	40,000	5.7
横浜	12,700,000	443,000	3.5	和歌山	200,000	0	0.0	外国	50,000	40,000	80.0
湘南	6,600,000	490,000	7.4	鳥取	200,000	50,000	25.0	都道府県別計	(280,000,000)	(19,317,000)	(6.9)
相模	13,400,000	5,280,000	39.4	島根	500,000	0	0.0	校友会	20,000,000	0	0.0
西湘	4,000,000	130,000	3.3	岡山	700,000	0	0.0	合計	300,000,000	19,317,000	6.4

注:校友会分担の2千万円については総会で承認され次第実行する。

# 教育職員免許更新講習の開設と受講のお勧め

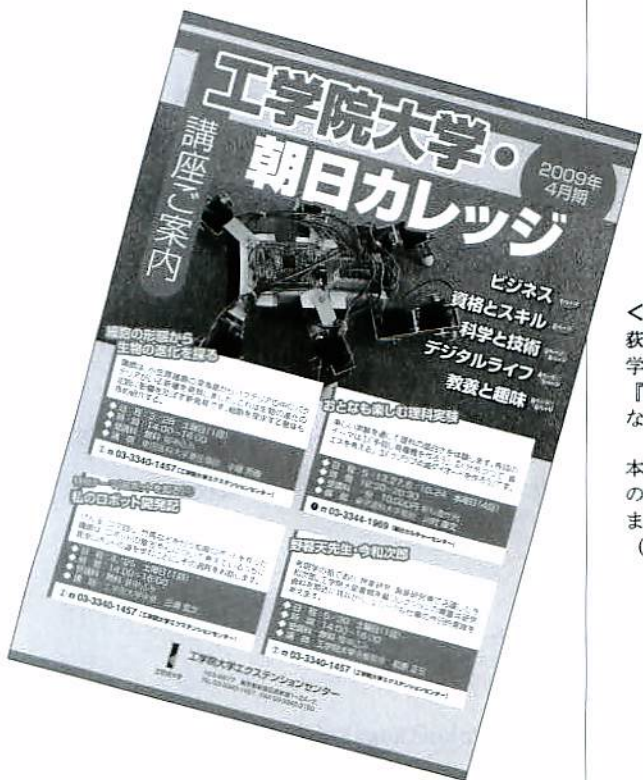
2007年の教育職員免許法の改正によって、2009年度より免許更新制が実施されることになりました。この制度は、免許を持っているすべての教員は原則として10年ごとに更新講習を受講して、免許の更新手続きを行わなければなりません。具体的には、35,45,55歳を区切りとして、その区切りの前2年間に受講することとされています。講習は、大学の他、民間法人などが開設しますが、今のところの開設予定は文部科学省のHPに発表されています。申し込みは各自で、開設者に直接申し込むことになっています。また費用は個

人負担です。

工学院大学でも更新講習を行う予定です。今年は8月3,4日に必修部分(募集定員60名)を、5~7日に選択部分(工業、情報分野、募集定員30名)を申請中です。そのほかの教科領域などについても準備が進み次第、開設の申請を行う予定です。校友の先生方には、是非母校での受講をお勧めします。詳しくは4月に入ってから大学のHPに掲載する予定ですので、そちらをご覧ください。

(工学院大学教職課程主任 蔵原清人)

## 工学院大学 朝日カレッジ 講座ご案内



■ 工学院大学・朝日カレッジ  
「工学院ゆかりの人物」シリーズ

### 野暮天先生・こん わじろう今和次郎 ～工学院大学所蔵コレクションの魅力～

#### <講座のねらい>

考現学の祖であり、民家研究・服装研究等で活躍した今和次郎(今は工学院大学で「日本文化史」の授業を担当していたこともあります)。彼が残した膨大な研究資料からは、日本人の生活文化の諸相や渡航先の西洋人の暮らしぶりが鮮明に蘇ってきます。「野暮天先生」と呼ばれた今が、とことんこだわって収集につとめ、そこから浮かび上がらせようとしていたものは何だったのか。そのユニークな仕事の今日的意味を考えつつ、今回は特別に、工学院大学図書館所蔵の今和次郎コレクションの中から選んだ貴重な実物資料を間近に見ていただきたいと思います。

工学院大学図書館 今和次郎コレクション  
<http://www.lib.kogakuin.ac.jp/collection/kon/index.html>

#### <講師紹介>

萩原 正三(おぎはら まさみつ):工学院大学名誉教授。1996 農村計画学会学会賞受賞。著書は『今和次郎・欧州見聞野帖 紳士淑女以外』(編)柏書房『青森県の暮らしと建築の近代化に寄与した人々』青森県史叢書(共)青森県、など。

本講座は、「工学院ゆかりの人物」シリーズの一つです。今までに、本学出身の成瀬巳喜男氏(映画監督)、ハナ肇氏(コメディアン)を取り上げてまいりました。平成21年秋には「東京駅を作った男たち-辰野金吾と工手学校生」(仮題)を予定しております。

- 日時 5月30日(土)、14:00~16:00
- 受講料 無料
- 場所 工学院大学新宿キャンパス \*裏面地図を参照ください

工学院大学エクステンションセンター  
〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2  
TEL03-3340-0946 FAX03-3342-3150



# 校友会事務局からのお知らせ・お願い

## ◆維持協力会費納入のお願い

在学中に納入していただいている終身会費だけでは校友会の運営が難しくなってきました。

工学院大学校友会としては、学園に対して今まで以上の支援を考えております。平成20年度の維持協力会費の実績は、795名の方々から納入いただき300万円を上回る金額となっておりますが、皆様方の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

## ◆E-mailアドレスをお持ちの方は是非お届け下さい

平成14年3月から会員に対してE-mailによる情報ネット発信態勢の構築に取り掛かっており、現在、1800名の登録があります。定期的に学園や校友会の情報を発信しておりますのでE-mailアドレスをお持ちの方（携帯電話は不可）、一度お届け後変更された方は同封の総会出席通知にご記入の上、投函下さいますようお願いいたします。なお、既に情報を受け取られている方は再登録の必要はありません。

## ◆工学院大学校友会STEC VISAカードのご案内

工学院大学校友会STEC VISAカードは、

1. 工学院大学校友会会員・在学生ならびに教職員の方と家族だけがお持ちいただけるエンブレムカードです。  
(工学院大学校友会と三井住友カード株が提携発行する公認カードです)
2. 会員の方がこのカードをお使いになると、その利用額に応じた提携手数料が還元金としてカード会社から校友会に入金され、学園援助費、学生・生徒活動の援助費の一部に充当されます。なお、カード使用に当たっては通常のクレジットカードと同じ手数料以外は一切負担となることはありませんので申し込み希望の方は同封の総会委任状の連絡欄に○印をつけてご返送下さい。この件のお問い合わせは校友会事務局までお願いいたします。

## ◆校友会のホームページを開いてみてください

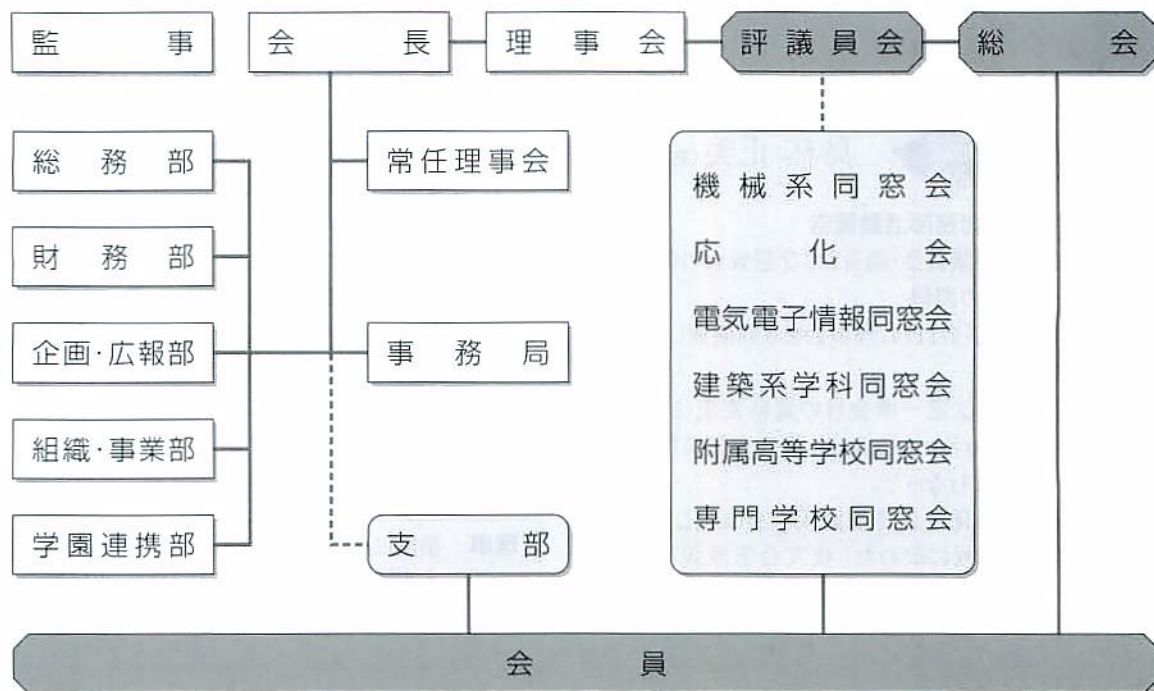
校友会のホームページは、各種の行事案内と報告、会員の叙勲等のトピックスなど情報満載です。全国大会や総会・新年会の写真もたくさん掲載されておりますので、ぜひご覧下さい。事務局の休業日等も掲載されており、ご来校の予定の前にはご確認頂くこともできます。

校友会HP URL：<http://www.kogakuin.or.jp> 会員のページ2のパスワード

TEL 03-3342-2064・03-3340-1649 FAX 03-3342-2035 E-mail [jimukyoku@kogakuin.or.jp](mailto:jimukyoku@kogakuin.or.jp)



# 工学院大学校友会 組織図



会長  
長嶋 秀世



副会長／組織・事業部担当  
高田 貢



副会長／学園連携部長  
姫野 有文



副会長／総務部長  
渡辺 征一郎



副会長／企画・広報部長  
田野邊 幸裕



監事  
吉岡 利幸



監事  
福田 忠彦



監事  
楠 昭

## 各部会の活動報告 総務部



副会長/部長  
渡辺 征一郎(左)

副部長  
島林 正美(右)

### ■平成20年度校友会総務部活動報告

1. 平成20年度校友会評議員会・総会および懇親会の開催
2. 常任理事会・理事会の開催  
平成20年度 常任理事会11回、理事会を6回開催した。
3. 規程類の改訂・制定

- ① 定款施行細則の改定一準会員の資格変更に伴う改定、理事枠を50名とする改定、賠償責任に関する制定をそれぞれ行なった。
- ② 校友会規程一名誉会長等推戴規程を改定し、名誉会員等推戴規程に改めた。校友会懲戒規程の制定について委嘱された理事からの委員と共にその

の制定に努めた。

4. 校友会各種データの電子データ化推進  
① 各種会議の録音テープの電子データ化・常任理事会・理事会議事録のPDF化の推進。
5. 公益法人改革に対する取組み  
① 校友会として一般社団法人への移行について理事会の承認を得た。(最終決定は総会)

### ■平成21年度校友会総務部活動計画

1. 平成21年度校友会評議員会・総会および懇親会の開催
2. 常任理事会・理事会の適宜開催
3. 校友会定款の改定作業着手
4. 校友会各種データの電子データ化推進
5. その他校友会の運営に必要な各種取り組み

**理事** 横田仁、田中英生、伊藤雄朗、久禮和彦、北澤興一、木本勝正、飯塚辰典、佐久間惣喜、坂口教子

## 財務部



副会長  
渡辺 征一郎

部長  
並木 光雄(左)

副部長  
若栗 徳男(右)

### ■平成20年度校友会財務部の活動報告

1. 校友会会計処理チェックと残高確認をマニュアルにより四半期ごと4回実施した。
2. 校友会監事による6同窓会及び沖縄全国大会の会計監査を支援する。  
・6同窓会の会計監査(平成19年度分)を8月2日までに実施した。  
・沖縄全国大会の会計監査の支援を「全国大会開催規程」により1月24日実施した。
3. 校友会費の収入が減少したため、維持協定会費の増大推進を行った。

・同窓会別実績表(3ヶ月単位)を作成して各同窓会へ納入依頼、総会時に「維持協定会費受付コーナー」を開設、12月には20年度未納入の方へ「再納入ご依頼票」を郵送した。

### ■平成21年度校友会財務部の活動目標

1. 校友会会計処理チェックと残高確認。(校友会の財産管理)
2. 6同窓会の会計監査の支援。
3. 校友会維持協定会費の増大推進。
4. 予算編成を中期計画(3年)で策定し、財政基盤の強化をはかる。
5. 公益法人改革に伴う一般社団法人へ移行のため、財務関連の確認。

**理事** 関谷重彦、朝比奈明、田中久弥、濱根洋人、田中正裕、三宅捷夫、渡辺征三、西原康二

## 企画・広報部



副会長/部長  
田野邊 幸裕(左)

副部長  
太田 正利(右)

### 【平成20年度】校友会企画・広報部活動報告

企画・広報部の役割は、校友会報誌の発刊と校友会ホームページの運営が、主な活動内容です。一昨年(vol.129)は、新メンバーで担当することになり、従来「会報が来ると、封を開けるやいなやゴミ箱へ」ということをしばしば聞き、卒業生にどうして読んで頂けるかを検討し、「脱ゴミ箱」を

合言葉に編集に取り組みました。特に学園が125周年を迎えるにあたり、長い歴史の中での卒業生の活躍を紹介した内容の充実に努め、誌面のカラー化、表紙のコンペ募集、広告掲載(卒業生の活躍企業紹介・財政面)等に取り組みました。65,000部を、会員や学生に配布いたしました。

昨年5月の総会前後に前号の会報誌内容を確認・反省する意味で、アンケート調査を実施いたしました。アンケート結果は、概ね及第点の評価を戴きました。その結果を受けて、Vol.130は昨年度の企画を継承することにして編集作業を進めました。但し、記事内容に不適切な内容が一部見受けられたので、これの改善に努め、評価のあった「会員の活躍記事、誌面のカラー化、広告掲載など」につ

いて積極的実施いたしました。

また、会員等への情報の伝達手段として、ホームページの役割が非常に重要であり、効果的であることから、会報誌に加えて、校友会ホームページを新たな広報の重要媒体として掲げ、積極的に取り組むことにいたします。

#### 【平成21年度】校友会企画・広報部会活動計画

平成21年度も前年の活動を継承して行う予定です。

**理事** 田村久義、都築登輝浩、吉川重克、名取勝敏、大場光博、岡安彰、佐藤敏勝

## 組織・事業部



副会長  
高田 貢  
部長  
來住 康弘(左)  
副部長  
加藤 隆弘(右)

#### ■平成20年度組織・事業部活動報告

1. 部会：8回(内2回首都圏支部長会)後援会とは2回開催した
2. 支部との連携強化：本部役員、各支部長のメールアドレスを校友会内に設定し、各自指定の個人アドレスに自動転送するシステムを確立した
3. 支部総会：全国大会のPRも兼ね31支部に参加をした
4. 全国大会：H20/10/11全国から300名弱の校友が参加し、第16回沖縄大会を開催した
5. 全国大会開催マニュアル：H19/12/14制定。これに則り沖縄大会取支報告も承認された
6. 大学後援会との連携：静岡県、栃木県、神奈川県の後

援会総会に参加した

7. 新年会：「新春の集い2009」に257名の参加があった

#### ■平成21年度組織・事業部活動計画

1. 部会：6回(内1～2回首都圏支部長会兼)、後援会とは2回開催予定
2. 支部との連携強化：メール転送システムによる双方向利用で図る
3. 支部総会：大学からの講演も予定している
4. 全国大会：第17回埼玉大会は1,000人規模で計画
5. 大学後援会との連携：学園、学生への支援活動情報交換と総会参加
6. 新年会：出席者数増加と固定化現象の打破
7. 125周年記念事業募金：募金委員会、同窓会、支部と連携図り遂行

**理事** 前田道徳、大津幹太郎、吉田幹雄、小沢和重、谷口宗彦、鈴木久、中島孝明、梶野和己

## 学園連携部



副会長/部長  
姫野 有文(左)  
副部長  
池崎 誠(右)

#### ■平成20年度校友会学園連携部活動報告

1. 平成20年度校友子女特別入試枠への取り組み  
案内書を作成し、15,000部を送付した。結果は、16名が応募し、15名が合格した。
2. ホームcomingデーへの後援  
今年度開催の第8回から学園連携部のみの対応で後援活動を行った。
3. 大学後援会との連携

大学後援会の支部父母懇談会に参加し、相談窓口での対応等の活動を行った。

4. 卒業生バックアップセンターの設立  
SNSのネットワークの確立を計画してきたが、その機能の他に再就職等卒業生に対する取組みを付加した「卒業生バックアップセンター」の設立に向けた活動を行った。

#### ■平成21年度校友会学園連携部活動計画

平成21年度も前年の活動を継続して行う予定である。

**理事** 近藤智、佐藤浩安、鷹野一郎、後藤敏明、初田亨、岡村大

# 「第64回評議員会・第53回総会」開催のお知らせ

1. 日時 平成21年5月31日(日) 13:30～
  2. 場所 新宿キャンパス 3階「アーバンテックホール」
  3. 議案 第1号議案 平成20年度事業報告承認の件  
 第2号議案 平成20年度収支決算ならびに財産目録承認の件 監査報告  
 第3号議案 平成21年度事業計画(案)承認の件  
 第4号議案 平成21年度収支予算(案)承認の件  
 第5号議案 一般社団法人への移行承認の件  
 第6号議案 学園創立125周年記念事業募金へ2000万円寄付の件  
 第7号議案 定款施行細則の改定・制定の件  
 (1) 校友会理事を50名とするための改定 (2) 準会員の資格変更に伴う改定  
 (3) 名誉会長・相談役の呼称変更に伴う改定 (4) 損害賠償責任に関する追加制定
  4. 報告事項 理事の入替え、学園創立125周年記念事業募金、高校同窓会問題、青森県支部問題
- (注1) 本誌同封封書により、折り返し出欠についてご回答下さい。封書は80円切手をお貼り下さい。  
 (注2) 定款施行細則により、当該議事について意思表示のない場合は同意の意思があったと見なして出席者に加えることができることになっておりますのでこの点予めご了承下さい。  
 (注3) 総会・評議員会で意見のある方は事前に事務局までFAX03-3342-2035にてご意見をお寄せ下さい。

## 「総会当日のプログラム」

### ◆ 評議員会・総会

- 受付 ●13:00～  
 開会 ●13:30  
 議事 ●14:00～

### ◆ 学園近況報告・表彰式等

- 学園近況報告 ●16:15～  
 学生・生徒の表彰状贈呈 ●16:30～



### ◆ 講演会

- 記念講演 ●17:00～18:00  
 演題：「沖縄の過去・現在・これから」  
 講演者 ●上野 光三氏

1967年工学院大学建築学科卒  
 飛鳥建設(株)、國場組(営業本部長)を経て現在  
 沖縄の企業で米軍向け住宅供給の事業を展開中。  
 その他沖縄県在全国県人会名誉会長、福島県観  
 光大使を務める。

なお、講演会終了後中層棟7階食堂にて18:10から懇親会を開催いたします。

### 学生・生徒の表彰報告(平成20年度総会において)

大学院	専攻	氏名	大学	専攻	氏名
	機械工学専攻2年	貞光 亮秀	工学部 一部	電子工学科4年	高橋 竜平
	化学応用学専攻2年	西村 和子	情報学部 一部	コンピューター科学科2年	ザナシル アマル
	電気・電子工学専攻1年	池端 孝次	〃 一部	情報デザイン学科2年	宮崎 綾
	情報学専攻1年	小川 なつき	工学部 一部	建築学科2年	高東美智子
	建築学専攻2年	川島 一記	〃 一部	建築学科2年	新田 龍宏
			〃 一部	建築都市デザイン学科2年	落合 智
			〃 二部	建築学科2年	菅井 康裕
大学	専攻	氏名	附属高等学校	学年	氏名
工学部 一部	機械工学科2年	白田 祐也		中高一貫コース3年	後藤 幸久
〃 一部	機械システム工学科2年	飯川 拓也		文理特進コース3年	神山 堯
〃 二部	機械システムデザイン学科2年	田渡 仁司		普通コース2年	佐藤 潤
GE学部 一部	機械創造工学科2年	山口 和也			
工学部 一部	応用化学科2年	大和田 聖	附属中学校	学年	氏名
〃 一部	マテリアル科学科2年	幸田 聖哉		3年	塩野香菜子
〃 二部	化学応用デザイン学科2年	林 秀光		2年	南木かなえ
〃 一部	電気システム工学科3年	藤岡 幸平			

第1号議案

平成20年度事業報告

平成20年度において下記の通りの事業活動を行いました。

事業に関する定款条文	事業内容
学校の教育施設に関する助成 (定款第5条第1項)	1. 学園援助費寄付
学校に在学する学生・生徒の学習活動および就職活動ならびに教職員の調査研究の助成 (定款第5条第2項)	1. 学生・生徒の研修援助 ①優秀学生の表彰 ②学生の研修活動に対する援助・支援
会誌および学術図書の刊行 (定款第5条第3項)	1. 校友会報129号の発行(65,500部) 2. 会員名簿の更新・ラベルの発行
学術に関する講演会および見学会等の開催 (定款第5条第4項)	1. 学術講演会開催(総会開催時) 2. OBの活動発表会(新春の集い開催時) 3. 各支部単位での見学会の開催
会員相互の親睦提携および学校との連絡を図るに必要な施設の設置 (定款第5条第5項)	1. 新春の集い・懇親会の開催 2. 総会後の懇親会の開催 3. 各支部の支援および支部組織の活性化 4. 各種同好会活動の支援 5. 各支部総会・懇親会の開催(40支部735名) 6. 沖縄全国大会開催 7. 第8回ホームカミングデー開催の後援 8. 学園が行なう社会活動への援助・支援 9. 学園支援へ向けた活動の実施
学校の行う就職の斡旋および紹介に関する援助 (定款第5条第6項)	1. 就職の支援 2. 大学後援会との懇談会開催
その他目的を達成するために必要な事業 (定款第5条第7項)	1. 学園創立125周年記念事業への積極的支援

第3号議案

平成21年度事業計画(案)

平成21年度において下記の通り事業活動を行います。

事業に関する定款条文	事業内容
1. 学校の教育施設に関する助成 (定款第5条第1項)	1. 学園援助費寄付
2. 学校に在学する学生・生徒の学習活動および就職活動ならびに教職員の調査研究の助成 (定款第5条第2項)	1. 学生・生徒の研修援助 ①優秀学生の表彰 ②学生の研修活動に対する援助・支援
3. 会誌および学術図書の刊行 (定款第5条第3項)	1. 校友会報130号の発行 2. 会員名簿の更新・住所ラベル等の発行
4. 学術に関する講演会および見学会等の開催 (定款第5条第4項)	1. 学術講演会開催(総会開催時) 2. OBの活動発表会開催(新春の集い開催時) 3. 各支部単位での見学会の開催
5. 会員相互の親睦提携および学校との連絡を図るに必要な施設の設置 (定款第5条第5項)	1. 新春の集い・懇親会の開催 2. 総会後の懇親会の開催 3. 各支部の支援および支部組織の活性化 4. 各種同好会活動の支援 5. 各支部総会・懇親会の開催 6. 学園支援へ向けた活動の実施 7. 第9回ホームカミングデー開催への積極的な後援 8. 第17回校友会全国大会(埼玉大会)開催準備 9. 学園が行なう社会活動への援助・支援
6. 学校が行う就職の斡旋および紹介に関する援助 (定款第5条第6項)	1. 就職の支援 2. 後援会との連携強化
7. その他目的を達成するために必要な事業 (定款第5条第7項)	1. 学園創立125周年記念事業への積極的支援

## 第2号議案 平成20年度収支計算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(単位:円 △印は予算超過金額)

科目	予算額	決算額	差異
<b>【収入の部】</b>			
基本財産運用収入	60,000	120,000	△60,000
基本財産利息収	60,000	120,000	△60,000
会費収入	28,931,000	27,882,000	1,049,000
会費収入	28,931,000	27,882,000	1,049,000
協力会費収入	5,000,000	3,241,000	1,759,000
協力会費収入	5,000,000	3,241,000	1,759,000
寄付金収入	200,000	130,000	70,000
寄付金収入	200,000	130,000	70,000
雑収入	1,200,000	1,884,726	△684,726
受取利息・配当	100,000	812,438	△712,438
雑収入	1,100,000	1,072,288	27,712
特定預金取崩収入	6,000,000	8,662,600	△2,662,600
前受預金取崩収	6,000,000	8,662,600	△2,662,600
当期収入合計(A)	41,391,000	41,920,326	△529,326
前期繰越収支差額	15,312,226	15,312,226	0
収入合計(B)	56,703,226	57,232,552	△529,326
<b>【支出の部】</b>			
事業費	24,805,000	23,040,537	1,764,463
学園援助費	2,500,000	2,410,511	89,489
学生生徒活動援助費	2,500,000	2,100,000	400,000
学生生徒奨励金	1,215,000	1,212,000	3,000
学園連携活動費	500,000	87,000	413,000
会報印刷費	3,850,000	3,738,975	111,025
発送作業費	470,000	356,656	113,344
郵送費	3,800,000	3,755,825	44,175
印刷費	1,290,000	828,587	461,413
協力会費割戻金	810,000	636,000	174,000
支部出張費	1,275,000	1,482,878	△207,878
支部総会会費	150,000	158,500	△8,500
後援会連携対策費	200,000	107,430	92,570
支部関係雑費	375,000	303,628	71,372
給与手当	3,820,000	4,331,549	△511,549
福利厚生費	150,000	43,875	106,125
全国大会費	1,500,000	1,279,147	220,853
校友ネットワーク構築費	300,000	176,070	123,930
消耗雑費	100,000	31,906	68,094
管理費	15,750,000	15,562,481	187,519
総会費	1,500,000	1,073,448	426,552
本部会議費	1,636,000	1,559,762	76,238
その他会議費	2,600,000	4,042,190	△1,442,190
給与手当	5,200,000	5,028,917	171,083
福利厚生費	650,000	729,618	△79,618
旅費・交通費	50,000	24,951	25,049
通信費	1,274,000	879,828	394,172
振替手数料	150,000	128,080	21,920
事務用品費	660,000	322,525	337,475
消耗品費	40,000	0	40,000
印刷製本費	80,000	56,875	23,125
修繕費	60,000	0	60,000
賃借費	250,000	278,460	△28,460
対外費	1,100,000	1,225,676	△125,676
慶弔費	300,000	104,750	195,250
公租公課	50,000	31,000	19,000
雑費	150,000	76,401	73,599
特定資産支出	0	4,000,000	△4,000,000
協力会費引支出	0	4,000,000	△4,000,000
予備費	836,000	—	836,000
当期支出合計(C)	41,391,000	42,603,018	△1,212,018
当期収支差額(A)-(C)	0	△682,692	682,692
次期繰越収支差額(B)-(C)	15,312,226	14,629,534	682,692

## 第4号議案 平成21年度収支予算書(案)

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
<b>【収入の部】</b>			
基本財産利息収入	48	60	△12
会費収入(6同窓会)	30,775	28,931	1,844
協力会費収入	3,000	5,000	△2,000
寄付金収入	150	200	△50
雑収入	1,510	1,200	310
学園援助基金取崩収入	26,000	6,000	20,000
当期収入合計	61,483	41,391	20,092
前期繰越収支差額	14,629	15,312	△683
収入合計	76,112	56,703	19,409
<b>【支出の部】</b>			
事業費	44,575	24,805	19,988
学園援助費	22,500	2,500	20,000
学生生徒活動援助費	3,000	2,500	500
学生生徒奨励金	1,215	1,215	0
学園連携活動費	100	500	△400
会報・出版費	8,220	8,120	100
会報印刷費・取材費	3,950	3,850	100
発送作業費	470	470	0
郵送費	3,800	3,800	0
印刷費	1,290	1,290	0
支部関係費	2,750	2,810	△60
協力会費割戻金	900	810	90
支部出張費	1,500	1,275	225
支部総会会費	150	150	0
後援会連携対策費	200	200	0
支部関係雑費	0	375	△375
給与手当	4,450	3,820	630
福利厚生費	150	150	0
全国大会費	500	1,500	△1,000
校友ネットワーク構築費	300	300	0
消耗雑費	100	100	0
管理費	15,804	15,750	54
総会費	1,200	1,500	△300
本部会議費	1,770	1,636	134
その他会議費	2,600	2,600	0
給与手当	5,200	5,200	0
福利厚生費	650	650	0
旅費交通費	50	50	0
通信費	1,374	1,274	100
振替手数料	150	150	0
事務用品費	600	660	△60
消耗備品費	10	40	△30
印刷・製本費	50	80	△30
修繕費	50	60	△10
賃借費	280	250	30
対外費	1,400	1,100	300
慶弔費	200	300	△100
公租公課	120	50	70
雑費	100	150	△50
固定資産取得支出	0	0	0
予備費	1,000	836	164
当期支出合計	61,379	41,391	19,988
当期収支差額	104	0	104

## 第5号議案 一般社団法人への移行承認の件

工学院大学校友会は、全国の大学の校友会の中でも数少ない社団法人格を有する校友会として活動してきましたが、政府の推進する公益法人改革により、同窓会・校友会は、社団法人としては認められなくなり、今後は、一般社団法人を目指すのか、任意団体になるのか二者択一の決断を迫られることとなりました。この問題は、校友会としていろいろ議論してきましたが、任意団体になることは定款上からは、校友会としての解散を意味し、この点も含めて審議の結果、昨年11月27日開催の理事会では一般社団法人への移行が全会一致で決議されました。この移行問題について校友会としての最終的な方向付けを行うための提案です。

なお、一般社団法人に移行した場合、税制上の特典は全くなく、取扱いは任意団体と同様となります。また、平成20年12月1日からは、社団法人から特例民法法人という取り扱いとなっており、平成25年11月30日までに移行を完了させることになっています。

## 第6号議案 学園創立125周年記念事業募金への2000万円寄付の件

学園は、平成24年(2012年)に創立125周年を迎えます。学園としての募金活動は平成20年(2008年)4月1日から平成25年(2013年)3月31日の5年間で取り組み、募金目標額は15億円となっております。校友会としても“学園創立125周年記念事業校友会募金委員会”を立ち上げ、校友会の目標額を3億円と定め、具体的な活動に入っておりますが、具体的な募金活動については各同窓会、各支部の活動指針に基づいて対応していくことになっております。

本提案は、各同窓会、各支部の活動とは別に校友会として寄付を行うというものであります。昨年11月27日開催の理事会において全会一致で承認されており、総会の承認を得て学園に2000万円を寄付したいと考えております。

### ◆理事の変更

同窓会名	新理事	旧理事
電気電子情報同窓会	田中久弥、濱根洋人	軍司俊彦、浅山行博
建築系学科同窓会	初田 亨	笹原 克
附属高等学校同窓会	鈴木 久	石渡秀夫、芳賀栄高

## 受 章

### 相澤 久弘氏 藍綬褒章を受章

平成20年秋の褒章で相澤久弘氏(昭和49年大学工業化学科卒)が受章の榮譽を受けられました。おめでとうございます。

## 訃 報

次の方々をご逝去されました。ご生前のご活躍を偲び謹んでご冥福をお祈りいたします。

校友会熊本県支部長	吉永 邦雄氏(平成20年9月4日)
校友会元副会長	間宮眞佐人氏(平成20年10月22日)
校友会元理事	間宮富士雄氏(平成20年11月30日)
工学院大学名誉教授	森田 益生氏(平成20年12月25日)
工学院大学名誉教授	柿沼 敏雄氏(平成21年2月20日)
校友会元理事	瀬戸 馨氏(平成21年3月3日)

# 平成21年度支部総会開催予定表

2009.3.31現在

支部 名称	開催日時	開催場所	支部 名称	開催日時	開催場所
富山県支部	4月9日(木) 18:00	高志会館	川崎支部	7月4日(土) 11:00	川崎日航ホテル
岩手県支部	5月16日(土) 15:00	花巻温泉・金矢温泉	横浜支部	〃 〃	〃
山口県支部	5月16日(土) 18:00	ホテルサンルート徳山	湘南支部	〃 〃	〃
栃木県支部	5月17日(日) 14:00	ホテル ニューイタヤ	相模支部	〃 〃	〃
愛知県支部	5月23日(土) 11:00	ローズコートホテル「比翼」	西湘支部	〃 〃	〃
鹿児島県支部	5月29日(金) 18:30	パレスイン鹿児島	島根県支部	7月12日(日)	未定
西東京支部	6月6日(土) 13:30	八王子クリエイトホール	佐賀県支部	8月29日(土) 11:00	グランデはがくれ
埼玉県西支部	6月7日(日) 16:00	紫雲閣(東松山)	北海道支部	9月12日(土)	未定
千葉県支部	6月14日(日) 12:00	千葉市 みどり	新潟県支部	10月24日(土) 12:00	日本海庄や
埼玉県中央支部	6月14日(日) 13:30	浦和コミュニティセンター会議室	東京支部	10月25日(日)	工学院大学28F
広島県支部	6月14日(日) 14:00	まする	福島県支部	11月7日(土)	清稜山倶楽部
山梨県支部	6月19日(金) 18:30	ベルクラシック甲府	大分県支部	11月14日(土) 18:00	別府つるみ荘
石川県支部	6月21日(日) 15:00	ホテル金沢兼六荘	沖縄県支部	11月20日(金) 19:00	エッカホテル
熊本県支部	6月21日(日) 15:00	ワシントンホテル	長野県支部	11月23日(月) 18:30	上田市東急イン
体育会連合OB会	6月21日(日)	工学院大学アーバンテックホール	京滋支部	11月28日(土) 18:00	きよみず
高知県支部	6月27日(土) 18:00	早川	静岡県支部	2月	静岡市
東芝支部	7月3日(金) 18:15	工学院大学28F			

校友会本部役員、各支部長への連絡は下記のe-mailアドレスをご利用下さい。(※校友会のサーバーに一定期間保管されます)

## 本部役員・支部長メールアカウント一覧

2009.3.31現在

名 前	メールアドレス	名 前	メールアドレス
会 長	kaicyo@kogakuin.or.jp	東 京 支 部	tokyo@kogakuin.or.jp
総務部副会長	fukukaicyo1@kogakuin.or.jp	西東京支部	nishi-tokyo@kogakuin.or.jp
財務部副会長	fukukaicyo2@kogakuin.or.jp	川 崎 支 部	kawasaki@kogakuin.or.jp
企画・広報部副会長	fukukaicyo3@kogakuin.or.jp	横 浜 支 部	yokohama@kogakuin.or.jp
組織・事業部副会長	fukukaicyo4@kogakuin.or.jp	相 模 支 部	sagami@kogakuin.or.jp
学園連携部副会長	fukukaicyo5@kogakuin.or.jp	湘 南 支 部	syonan@kogakuin.or.jp
総務部長	somu-bucyo@kogakuin.or.jp	西 湘 支 部	seisyo@kogakuin.or.jp
総務部副部長	somu-fukubucyo@kogakuin.or.jp	石川県支部	ishikawa@kogakuin.or.jp
財務部長	zaimu-bucyo@kogakuin.or.jp	福井県支部	fukui@kogakuin.or.jp
財務部副部長	zaimu-fukubucyo@kogakuin.or.jp	長野県支部	nagano@kogakuin.or.jp
企画・広報部長	kikakukoho-bucyo@kogakuin.or.jp	愛知県支部	aichi@kogakuin.or.jp
企画・広報部副部長	kikakukoho-fukubucyo@kogakuin.or.jp	三重県支部	mie@kogakuin.or.jp
組織・事業部長	sosikijigyo-bucyo@kogakuin.or.jp	兵庫県支部	hyogo@kogakuin.or.jp
組織・事業部副部長	sosikijigyo-fukubucyo@kogakuin.or.jp	鳥取県支部	tottori@kogakuin.or.jp
学園連携部長	gakuenrenkei-bucyo@kogakuin.or.jp	島根県支部	shimane@kogakuin.or.jp
学園連携部副部長	gakuenrenkei-fukubucyo@kogakuin.or.jp	広島県支部	hiroshima@kogakuin.or.jp
監 事	kanji@kogakuin.or.jp	山口県支部	yamaguchi@kogakuin.or.jp
事務局長	jimucyo@kogakuin.or.jp	長崎県支部	nagasaki@kogakuin.or.jp
事務局	jimukyoku@kogakuin.or.jp	大分県支部	oita@kogakuin.or.jp
北海道支部	hokkaido@kogakuin.or.jp	宮崎県支部	miyazaki@kogakuin.or.jp
青森県支部	aomori@kogakuin.or.jp	鹿児島県支部	kagoshima@kogakuin.or.jp
岩手県支部	iwate@kogakuin.or.jp	沖縄県支部	okinawa@kogakuin.or.jp
宮城県支部	miyagi@kogakuin.or.jp	清水建設支部	shimz@kogakuin.or.jp
山形県支部	yamagata@kogakuin.or.jp	日本電気支部	nec@kogakuin.or.jp
福島県支部	fukushima@kogakuin.or.jp	東 芝 支 部	toshiba@kogakuin.or.jp
埼玉県中央支部	saitama-chuo@kogakuin.or.jp	学 園 支 部	gakuen@kogakuin.or.jp
埼玉県西支部	saitama-nishi@kogakuin.or.jp	体育会連合OB会支部	taiiku-ob@kogakuin.or.jp

## 平成20年度貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位:円)

資産の部	金 額	負債及び正味財産の部	金 額
1.流動資産	1,749,093	1.流動負債	65,307,997
2.固定資産	233,251,888	2.固定負債	1,952,600
		3.正味財産	167,740,384
		(うち基本金)	(20,000,000)
合 計	235,000,981	合 計	235,000,981

## 平成20年度財産目録

平成21年3月31日現在

(単位:円)

資産の部	金 額	負債及び正味財産の部	金 額
流動資産	1,749,093	負債	
1.現金預貯金	1,749,093	1.一般預り金	320,997
		2.在学生会費預り金	64,987,000
		3.退職給与引当金	1,952,600
固定資産	233,251,888	正味財産	167,740,384
1.基本財産引当預金	20,000,000	(うち基本金)	(20,000,000)
2.什器備品	759,088		
3.電話加入権	102,800		
4.長期預金	212,390,000		
合 計	235,000,981	合 計	235,000,981



## 工学院大学校友会懲戒規程

### (目的)

第1条 工学院大学校友会の定款および定款施行細則に基づき法人として学園の発展に寄与し、また、会員相互の親睦を図るために必要な法人としての秩序を維持するためにこの規程を制定する。

### (懲戒の種類)

第2条 懲戒の種類は、次の通りとする。

- 嚴重注意 - 始末書を提出させ、将来を戒める。
  - 資格停止3年未満 - 理事会で決定の日からこの間の資格を失う。
  - 除名 - 理事会で決定し、総会の承認後、永久に会員としての資格を失う。
- なお、役員が資格停止以上の決定を受けた場合は、役員を退任するものとする。

### (懲戒の事由)

- 第3条 次の各号に該当した場合、懲戒の対象とする。
- (1) 法令または校友会の定款および定款施行細則に著しく違反したとき。
  - (2) 役員にあっては職務上の義務を著しく怠った場合、若しくは役員たるにふさわしくない重大な非行があったとき。
  - (3) 工学院大学校友会倫理規定に抵触し処分を受けたとき。
  - (4) 校友会の名誉、信用を失墜させる行為、また、故意に何等かの損害を与える行為があったとき。
  - (5) 校友会の決定に従わず、校友会の運営に混乱を生じさせる行為があったとき。
  - (6) 他の者を教唆し、または扇動して校友会ならびに会員に迷惑となる行為があったとき。
  - (7) 前(1)～(6)号以外で相当の事由があったとき。

### (懲戒委員会の設置)

- 第4条 懲戒委員会の委員は、常任理事会で常任理事会から3名、理事から4名の計7名を選定し、理事会において審議の上、承認を得て決定する。
2. 理事会で承認を得た委員が被当事者となった場合は、その当事者は委員から外れるものとする。
  3. 委員長、副委員長は互選により選定する。

### (懲戒の手続き)

第5条 懲戒規程に抵触すると思われる行為があった場合、各同窓会役員、常任理事ならびに理事は、会長宛にその旨を文書により具申する。

2. 具申を受けた会長は、具申された内容を常任理事会、理事会に諮り、本規程に基づき懲戒委員会の設置を決定し、委員を委嘱する。

3. 懲戒委員会は、会長から諮問を受けた事案について調査、審議の上、懲戒に関する意見を会長に答申する。

4. 懲戒委員会は、懲戒検討対象者に対し、弁明の機会を与えるものとする。

5. 会長は、懲戒委員会の答申を常任理事会、理事会に諮り、理事会において決定する。

ただし、除名については理事会で決定後、総会の承認を得るものとする。また、その他の懲戒については総会において報告するものとする。

### (懲戒の通知)

第6条 第4条で懲戒が決定した場合、会長は速やかに懲戒の事由、懲戒の種類、程度について当該者に文書により通知する。

### (異議申し出)

第7条 懲戒の議に付された者が、懲戒処分に関し、この規程の適用について異議があるときは、通知を受けた日から14日以内に会長に対して文書により異議の申し出をすることができる。

2. 異議の申し出があった場合には、会長は、懲戒委員会を招集し、異議に対して答申を求めるものとする。

3. 会長は、懲戒委員会の再答申を参考に、理事会に懲戒案を諮り、理事会において決定する。

4. 再度の決定についての異議の申し出はこれを受理しない。

### (規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は理事会で審議の上、承認を得て決定する。

### (付則)

第1条 この規程は平成20年11月27日から施行する。

## 名誉会長・相談役の呼称変更に伴う定款施行細則の改定(案)

(平成20年11月27日理事会承認)

改 定 案	現 行
<p>(顧 問)</p> <p>第13条 この法人に顧問をおくことができる。</p> <p>2. 顧問は、理事会に諮って会長がこれを推薦する。</p> <p>3. 顧問は、会長の諮問に応じかつ各種の会議に出席して意見を述べることができる。</p> <p>(名誉会長、相談役の推薦を取止め、今後は、名誉会員に統一して推薦する。過去の名誉会長、相談役は、名誉会員に呼称変更する。)</p>	<p>(名誉会長、顧問および相談役)</p> <p>第13条 この法人に名誉会長、顧問および相談役をおくことができる。</p> <p>2. 名誉会長、顧問および相談役は理事会に諮って会長がこれを推薦する。</p> <p>3. 名誉会長、顧問および相談役は会長の諮問に応じかつ各種の会議に出席して意見を述べることができる。</p>

## 損害賠償責任に関する定款施行細則の追加制定

改 正(案)	現 行
<p>(会議の出席者としてみなす手続き)</p> <p>第15条</p> <p>(損害賠償責任)</p> <p>第16条 校友会の会員が校友会に損害を与えた場合は、その損害額に対する損害賠償の責を免れず、弁済するものとする。</p> <p>(支 部)</p> <p>第17条</p> <p>以下、繰り下げ</p>	<p>(会議の出席者としてみなす手続き)</p> <p>第15条</p> <p>(支 部)</p> <p>第16条</p>

## 校友会理事を50名とするための定款施行細則の改定

(平成20年11月27日理事会承認)

改 定 案	現 行
<p>(評議員および役員を選出)</p> <p>第5条 (同 右)</p> <p>2. (同 右)</p> <p>3. (同 右)</p> <p>4. (同 右)</p> <p>5. (同 右)</p> <p>6. (削 除)</p> <p>6. (同 右)</p> <p>7. (同 右)</p>	<p>(評議員および役員を選出)</p> <p>第5条 評議員は各同窓会より30人を選出する。</p> <p>2. 理事は各同窓会から8人を選出する。</p> <p>3. 会長は、理事会において選出する。</p> <p>4. 会長は、副会長を2人～4人指名し、理事会の承認を得る。ただし、2人については、理事からの指名とし、残りについては、会員から指名する。なお、会員から選出された副会長は、所属同窓会の理事に追加する。</p> <p>5. 常任理事(部長、副部長)は、会長が、前項の選出理事から8人を指名し、理事会の承認を得る。ただし、各同窓会から1名以上を指名することとする。</p> <p>6. 会長が選出された同窓会は、理事1人を追加し、評議員会の承認を得る。</p> <p>7. 評議員および役員の入れ替え、補充については、理事会で承認を得た後、評議員会において報告する。</p> <p>8. 1項、2項、5項について理事会で承認した場合は、この限りでない。</p>

## 準会員の資格変更に伴う定款施行細則の改定

(平成20年11月27日理事会承認)

改 正 案	現 行
<p>(準会員)</p> <p>第3条 この法人の準会員は学校法人工学院大学が設置する各学校に在学するもので、最終学年に進学したときに会費を一括納入した者とする。</p> <p>2. 同 右</p> <p>3. 準会員は、校友会が開催する各種行事に参加することができる。また、本人の申し出により、校友会報、所属同窓会の同窓会誌を受け取ることができる。</p> <p>4. 準会員が一度納入した会費は返還しないものとする。</p> <p>5. 平成19年4月に準会員となったものは卒業までの期間準会員としての資格を有するものとする。</p> <p>(会 費)</p> <p>第4条 準会員は最終学年に進学したとき、正会員の会費を一時に20,000円を納入するものとする。</p> <p>2. 同 右</p> <p>3. 同 右</p> <p>4. 同 右</p>	<p>(準会員)</p> <p>第3条 この法人の準会員は学校法人工学院大学が設置する各学校に在学するもので、在学中に会費を納入するものとする。</p> <p>2. 準会員は各学校を卒業したとき正会員となる。ただし、準会員は民法上の社員とはならない。</p> <p>(会 費)</p> <p>第4条 準会員は卒業時まで正会員の会費を一時に20,000円以上納めたものとする。</p> <p>2. この法人は理事会の承認を経て、会費以外に会員から、法人維持協力金を徴収することができる。</p> <p>3. 法人維持協力金を分割で、または一時に50,000円以上納めたものは法人維持協力会員と呼称する。</p> <p>4. この法人の目的事業を後援しようとする者は、同窓会長が推薦し理事会の同意を得て、賛助会員となる事が出来る。賛助会員は入会金50,000円、年会費10,000円を納入する。賛助会員は民法上の社員とはしない。</p>

# 知的財産ビジネス支援の専門職集団 太陽国際特許事務所

所長・弁理士・博士（工学） 中 島 淳（S44機械卒・H14大学院電気電子卒）

機械建築担当弁理士	福田浩志（副所長） 針間一成 永田淳一 内田英男 中村 明	清武史郎* 鈴木悦郎 江口和敬*	堀江千鶴* 高橋尚子* 御橋優子	坂手英博* 河野元浩* 上野敏範*
電気電子担当弁理士	加藤和詳（副所長） 佐久間顕治* 小早川千佳子	百瀬尚幸 山口真紀	美濃好美* 大古奈奈*	山本隆雄* 鈴木沙緒里
化学材料担当弁理士	西元勝一（副所長） 小林美貴* 設楽修一 前嶋恒夫* 小谷純子	並川啓志* 村澤 彰 水谷泰嗣	都野真哉* 西山 崇*	上條由紀子* 下田世津子* 長野みか* 早瀬貴介
バイオ医薬担当弁理士	山中裕子	醍醐美知子*	山極美穂	膝館祥治 赤羽桃子
商標法律担当弁理士	関島昌子*	樋熊美智子*	高橋史保*	
米国特許弁護士	シェルダン モス		マーガレット パーク	
中国弁理士	董 昭			
韓国弁理士	金 峻河			

\*特定侵害訴訟代理業務付記

東京本部：東京都新宿区新宿4丁目3番17号 ダヴィンチ新宿8階 〒160-0022  
電話 (03) 3357-5171 (代表) ファクシミリ (03) 3357-5180 (代表)  
http://www.taiyo-nk.co.jp 相談・連絡用E-mail: info@taiyo-nk.co.jp  
USオフィス：米国バージニア州 神奈川オフィス：神奈川県小田原市

## 校友会ホームページのご案内

URL <http://www.kogakuin.or.jp/>

校友会ではホームページを運営し、皆様へ行事日程や活動報告などタイムリーな情報や、支部、同窓会、学園の案内などを提供しております。会員ページには校友会員の皆様だけアクセスできる情報も用意し、イベントの記念写真なども閲覧できます。また住所変更や各種問い合わせなどもメールで受付可能となっておりますので、一度覗いてみませんか？

（会員ページのパスワードは ）

工学院大学 校友会 社団法人 工学院大学校友会 学生会事務局 〒169-8677 新宿区新宿1-24-2 Tel:03-3342-2084 Fax:03-3342-2095

ホーム 活動紹介 支部活動 卒業生向け 委員会ページ 賞状授与 行方不明者 リンク

工学院大学校友会 新春の集い2009 開催される

学園・大学・他からのお知らせ

掲載日	内 容
2008/01/15	地域交流シンポジウム(詳細)
2007/12/25	125周年記念事業(詳細)
---	秘書長部が夏日本大会で優秀を受賞しました(詳細)
2007/10/09	炊事長部コンクールで2年連続受賞

更新情報: 最新自生ブログを掲載しています

三和シャッターグループは、「安全」「安心」「快適」を

既存の家にも、新築の家にも  
簡単に取付できます



S72モデル

ホームエレベーター 「気分乗々」

低価格 製品代は1,080,000円(税抜き)から

3.7m<sup>2</sup>外 畳半畳分のスペースがあれば設置可能

簡単施工 エレベーター設置工事は2日間

問合せ先: 0120-0909-30 (ホームエレベーター支店)

三和シャッター工業株式会社

〒175-0081 東京都板橋区新河岸2-3-5

顧問 渡辺静雄 (電気工学科:昭和39年卒:空手道部OB)

ホームページ//www.sanwa-ss.co.jp



電気設備 設計施工

**makino**

電力制御機器装置 設計施工

太陽光発電システム・オール電化設備  
設計施工

 **牧野電設工業株式会社**

代表取締役 牧野光洋 (1979年 専門学校電気科卒)

本社 〒166-0013  
東京都杉並区堀ノ内 3-25-5  
TEL 03-3313-2511 (代)  
FAX 03-3313-2509

甲府営業所 〒409-3864  
山梨県中巨摩郡昭和町押越 1519-3  
TEL 055-268-6016  
FAX 055-275-4015

URL <http://www.makino-dk.co.jp/>

皆様の実験を支えるパートナー



試薬・工業薬品・高純度試薬

ISO14001:2004/JIS Q 14001 理化学器具・機械・各分野の  
測定器・ガラス・樹脂加工品等

2004. EMS 523709

**大成化学株式会社**

本社: 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6

TEL 03 (3252) 3336 FAX 03 (3252) 2829

e-mail [taisei-k@giga.ocn.ne.jp](mailto:taisei-k@giga.ocn.ne.jp)

埼玉営業所: 〒350-1333 埼玉県狭山市上奥富 316

TEL 042 (955) 1637 FAX 042 (955) 1638

e-mail [taisei-k@eagle.ocn.ne.jp](mailto:taisei-k@eagle.ocn.ne.jp)

栃木営業所: 〒321-3425 栃木県芳賀郡市貝町多田羅字西原 1345

TEL 0285 (68) 4848 FAX 0285 (68) 4847

e-mail [t.taiseikagaku@tuba.ocn.ne.jp](mailto:t.taiseikagaku@tuba.ocn.ne.jp)

# 住宅ローン、まさか金利だけで選ぼうと

## していませんか？

意外と見落としがちなのは、完済するまでの総支払い金額。

金利だけでは見えませんが、大きな差があります。

繰上返済したい時、

手数料が掛かる場合があることをご存知ですか？

すぐに決めてしまう前に、弊社、又は

住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）ホームページ等で、

「総支払額」を確認してみませんか？



総返済額で 契約は「北海道から沖縄まで」出張いたします。

# お得度 No.1

を目指しています。

住宅取得は一生で一番大きい買物です。住宅ローンは何処で借りても住宅の品質には変わりありません。住宅ローンは、主に金利・手数料・保証料等で構成されています。

お気軽にご相談ください。

株式会社 優良住宅ローン

東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル20階 〒160-0023  
TEL:03-5339-8966 FAX:03-5339-8967  
<http://www.yuryoloan.jp>

営業 月～金 9:00～19:00  
時間 土 9:00～18:00

代表取締役社長 田野邊幸裕  
(建築学科1969年卒業)

## 工学院大学校友会 企画・広報部からのお知らせ

### ■校友会のホームページ

校友会に関する各種情報は、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.kogakuin.or.jp/koyukai/koho>

平成21年6月～22年5月 ユーザー名: パスワード

### ■校友会会報 (Vol. 131) の広告募集

「校友会会報」の広告を下記の要領で募集します。皆様のご協力をお願い致します。

1. 募集対象：各企業、組織、団体の広告など。
2. 広告代：カラー/表紙裏1頁16万円、他12万円、1/2頁6万円 / 黒一色1頁10万円、1/2頁5万円
3. 募集メ切：平成21年12月21日(月曜日)
4. 掲載：校友会報 2010 Vol.131 に掲載
5. 原稿送付先：校友会事務局宛に郵送、電子メール等。E-Mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp
6. 原稿形態：Word文書等の電子データを電子メール、または郵送。
7. 問い合わせ先：校友会事務局 TEL 03-3342-2064 Fax 03-3342-2035、E-Mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp  
(TEL 03-3340-2575 田村 E-Mail: at66244@ns.kogakuin.ac.jp)
8. 発行予定：平成22年4月末日 9. 発行部数：約65,000部 10. 配布先：全国校友会員、学園関係者など

### ■校友会報の表紙デザインのコンセプト 伊藤 洸

工学院大学工学部建築都市デザイン学科 西森研究室 伊藤 洸(いとうたけし)

1983年、青森県生まれ、2007年工学院大学工学部建築都市デザイン学科卒業

現在工学院大学大学院工学研究建築学専攻修士課程2年、西森研究室在籍



日中人にあふれる街も夜は違う姿を見せる。

夜になり光は休む間もなく光り続け、一日一日違う風景を作り出していく。

人が居なくなった街を光が彩り、乱立したビルが輝きだす。その瞬間、街は生まれ変わる。

慣れ親しんだこの風景ももう見る事ができなくなる。この風景を見たことがない人も、これから見る人もいるだろう。しかし、この一枚と同じ姿を見る事はできない。そんな、一瞬を切り取りとりたいという衝動に駆られた停電の夜だった。

この写真は26階のエレベーターホールから京王プラザホテル側を見た写真になっています。写っているビルは新宿三井ビル、新宿住友ビル、京王プラザホテルの夜の姿です。21時頃の新宿は美しい姿をしています。

### ■編集後記

今回は「学校法人工学院大学創立125周年特別企画」の記事としてタイムリーに二つの記事を掲載することができました。茅原健「洪沢栄一と工手学校」、蔡龍保「飯田豊二と日本統治時代の台湾鉄道」です。いずれも工手学校時代の先輩の苦労が偲べれます。

校友会報の頁をバラバラとめくって下さい。印象的な誌面を目標に写真を大きくし色調にも配慮し、卒業生の活躍する記事も簡潔にわかりやすくなるよう努力しました。卒業生がこの会報を手にして「母校を誇りに思う」と、ふと眩くような会報に成長していくことを期待しています。

校友会報の編集に際して、多くの卒業生・在校生・教職員をはじめ、広告出稿の企業の方々にもご協力戴きました。関係者の皆様、大変ありがとうございます。校友会報の誌面に関して、何かご意見がございましたら、下記のメールアドレス迄、是非ご連絡をお願い致します。 敬具

校友会 副会長/企画・広報部長 田野邊幸裕(建築)

工学院大学校友会事務局 E-Mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp

副部長 太田正利(高校)

理事 田村久義(機械)、都築登輝浩(応化)、吉川重克(応化)、名取勝敏(電気)、大場光博(建築)、岡安彰(高校)、佐藤敏勝(専門)

### Tokyo Urban Tech 工学院大学 校友会報 Vol.130

●発行日 2009年4月20日 ●発行 工学院大学 校友会

●住所 163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

電話/03-3342-2064, 03-3340-1649 Fax/03-3342-2035

E-Mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp http://www.kogakuin.or.jp

●編集 工学院大学校友会 企画・広報部

●本文デザイン・印刷 研精堂印刷株式会社



東京ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート

# 人生を、しなやかに。リゾートトラストグループ

リゾートトラストグループは、  
 会員権事業、会員制リゾートホテル事業、ホテルレストラン事業、ゴルフ事業、メディカル事業という  
 5つの事業を展開し、それぞれの領域で最上級のホスピタリティを追求しています。  
 例えば、「東京ベイコート倶楽部」や「エクシブ」をはじめとするリゾートホテルでは、会員制ならではのやすらぎを。  
 「グランドハイメディック倶楽部」では、最先端の予防医学とともに異常発見時の迅速で強力な治療サポートサービスを。  
 私たちは、人生を謳歌する「しなやかな生き方」に貢献します。



リゾートトラストグループ（全26社）は、全国に36カ所のホテル、12カ所のゴルフ場、その他メディカル関連施設等を幅広く展開しています。



グランドエクシブ那須白河



グランドエクシブ初島クラブ



エクシブ藝科



エクシブ京都八瀬離宮



グランディ軽井沢ゴルフクラブ



エクシブ山中湖サンクチュアリ・ヴィラ  
 (2009年春開業予定)



エクシブ箱根離宮 (2010年春開業予定)



エクシブ有馬離宮 (2011年春開業予定)



ハイメディック・東大病院



東京ミッドタウンメディカルセンター

リゾートトラスト株式会社 資料のご請求は  0120-111-214

[www.resorttrust.co.jp](http://www.resorttrust.co.jp)

□東京本社／東京都渋谷区代々木四丁目 36番 19号 リゾートトラスト東京ビル

【本社】東京・名古屋 【支社】東京・横浜・名古屋・大阪 【支店】埼玉・静岡・京都

